PlayMemories Home ヘルプガイド（オンラインでもっと詳しく）について

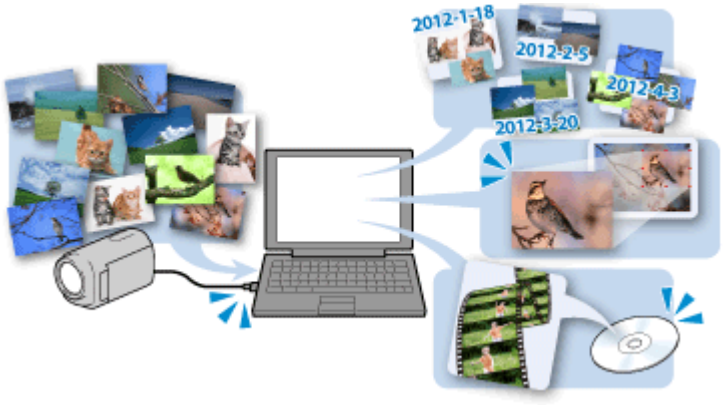
「PlayMemories Home」は、画像をパソコンに取り込んで見たり、いろいろな活用ができるソフトウェアです。
PlayMemories Home ヘルプガイド（オンラインでもっと詳しく）では、「PlayMemories Home」の基本的な使いかたからより進んだ使いかたまでを説明しています。よくあるご質問と回答もご覧いただけます。

ご注意

- PlayMemories Home ヘルプガイド（オンラインでもっと詳しく）の記載内容は、お使いの「PlayMemories Home」のバージョンにより異なる場合があります。
- すでに「PlayMemories Home」をお使いのときに、新たなカメラを接続すると、新しい機能を追加して「PlayMemories Home」がアップデートされます（追加機能がある場合）。
- PlayMemories Home ヘルプガイド（オンラインでもっと詳しく）の記載内容は、予告なく変更する場合があります。
- 「PlayMemories Home」使用時のパソコンの推奨環境につきましては、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- PlayMemories Home ヘルプガイド（オンラインでもっと詳しく）をご覧いただくには、パソコンがインターネットに接続されていることが必要です。

こんなことができます

「PlayMemories Home」を使うと、以下のことなどができます。



カメラから画像を取り込む

カメラをパソコンにつないで、撮影した画像をパソコンに取り込めます。

画像を見る

画像を撮影した日付ごとに管理でき、サムネイル表示から選んで見られます。

写真を印刷する

写真を選んで印刷できます。写真に日付を挿入して印刷することもできます。

画像を編集する

赤目補正などの写真の補正や、ビデオの編集（対応機種のみ）ができます。

ディスクを作る（対応機種のみ）

ビデオから、プレイヤーやパソコンで再生できるディスクを作成できます。

ご注意

- 「PlayMemories Home」に取り込むことができた画像であっても、一部の機能が正常に動作しない場合があります。
- お使いのカメラによって、できることは異なります。また、できることに合わせてヘルプの記載も異なります。

起動／終了する

起動する

「PlayMemories Home」は、以下の方法で起動できます。

- [スタート]—[すべてのプログラム]—[PlayMemories Home]の順に選ぶ。

終了する

「PlayMemories Home」は、以下の方法で終了できます。

- [ファイル]メニューから[終了]をクリックする。
- 画面右上の閉じるボタン[X]をクリックする。

カメラから画像を取り込む

カメラをパソコンにつないで、撮影した画像をパソコンに取り込みます。

1. カメラの電源を入れ、パソコンとつなぐ。
   画像の取り込み画面が表示される。

2. 保存先のドライブとフォルダー、取り込み方法を選ぶ。
   - [選択して取り込む]を選んだ場合は、画像選択エリアで取り込む画像にチェックを付ける。画像をダブルクリックすると、拡大して確認できる。
   - [設定]をクリックして、[取り込んだ画像を機器、メディアから削除する]にチェックを付けると、画像を取り込んだあとに、取り込んだ画像がカメラから削除される。

3. [取り込み開始]をクリックする。
   画像の取り込みが完了すると、メイン画面が表示される。

ヒント

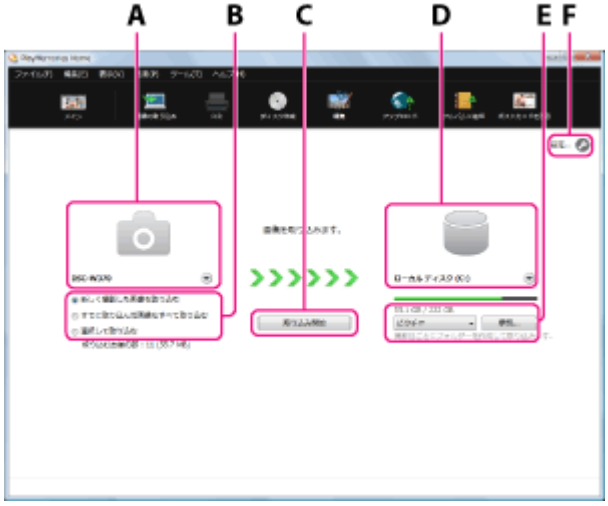
- 取り込み画面について詳しくは、取り込み画面の各部説明をご覧ください。
- カメラとパソコンのつなぎかたについては、付属の取扱説明書をご覧ください。
- Wi-Fi接続の場合は、カメラ側で送信操作を行うと自動的に画像が取り込まれます。まだ取り込んでいない画像のみが取り込まれ、画面に取り込みの進捗が表示されます。(「PlayMemories Home」のWi-Fi取り込み対応機種のみ)

ご注意

- USB給電機能がないカメラの場合、電源はACアダプターの使用をおすすめします。ACアダプターがない場合は、十分に充電したバッテリーをご利用ください。
- [ツール]メニューから[設定]-[取り込み]を選んで表示される画面の[機器を接続したときに PlayMemories Home で取り込みを行う]にチェックが付いていない場合は、取り込み画面は開きません。この場合は、「PlayMemories Home」を起動し、メイン画面上部の(画像の取り込み)をクリックしてください。

取り込み画面の各部説明

カメラをパソコンにつなぐと、「PlayMemories Home」が起動して画像の取り込み画面が表示されます。

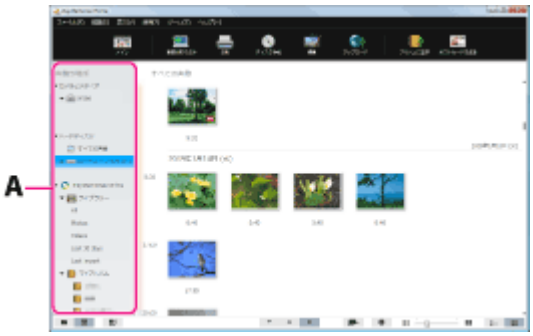


A	**取り込み元**	接続しているカメラのモデル名が表示される。をクリックして、ドロップダウンリストから他の接続されている機器を選べる。
B	**取り込み方法**	取り込み方法を選べる。[選択して取り込む]を選んだ場合は、画像選択エリアが表示される。
C	**取り込み開始ボタン**	取り込みを開始する。
D	**保存先**	取り込み先のドライブが表示される。をクリックして、ドロップダウンリストからドライブを選べる。
E	**保存先のフォルダー**	取り込み先のフォルダーが表示される。をクリックすると、現在設定されている取り込み先フォルダーと過去に取り込んだ取り込み先の履歴がリストで表示される。[参照]をクリックすると、フォルダー選択画面が表示され、フォルダーを選んで取り込み先に設定できる。
F	**設定**	取り込んだ画像をカメラから削除したり、取り込み後にカメラの電源を自動的にOFFにしたりする設定のほか、Wi-Fiによる自動取り込み、GPS軌跡ログの取得などの各種設定ができる。 ● 設定項目の機能に対応しているかどうかはカメラによって異なる。

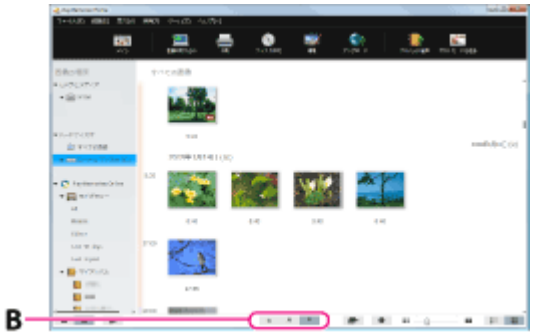
画像を見る

パソコンに取り込んだ画像を、撮影した日付ごとに分類・表示するカレンダービューで見られます。

1. メイン画面の［画像の場所］（A）で、見たい画像が保存されているドライブ、フォルダー、または接続しているカメラをクリックする。



2. ［年］、［月］、［日］ボタン（B）をクリックして表示を切り換え、見たい画像のサムネイルを表示する。



3. 大きく表示したい画像のサムネイルをダブルクリックする。
選んだ画像が拡大表示される。
ビデオを選んだときは、スライダーと再生操作のボタンが表示され、再生が始まる。

写真を選んだとき

ビデオを選んだとき

ヒント

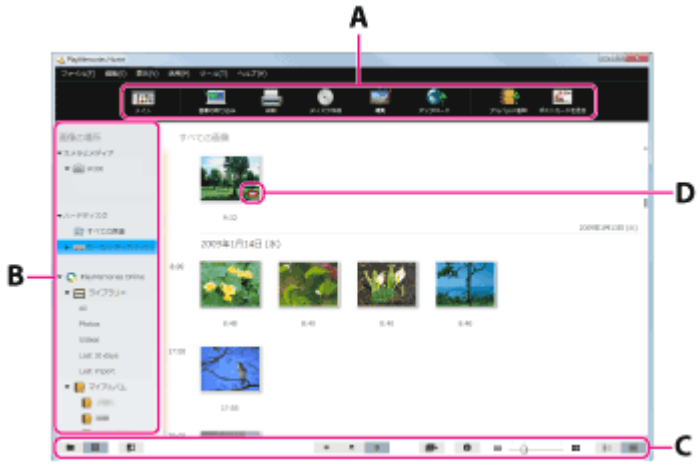
- 画面左下の■をクリックすると、登録したフォルダーごとに分類・表示するフォルダービューに切り換わります。
- メイン画面について詳しくは、メイン画面の各部説明をご覧ください。
- [カメラとメディア]内の画像をダブルクリックすると、別画面で画像が拡大表示されます。

ご注意

- パソコンに保存されている画像を「PlayMemories Home」で見られるようにするには、フォルダーを登録する必要があります。あらかじめ登録されている[マイ ピクチャ]フォルダー以外のフォルダーを登録する場合は、[ファイル]メニューの[フォルダーの登録]から、見たい画像が入っているフォルダーを選んで登録してください。

メイン画面の各部説明

▼ A ツールエリア
▼ B 画像の場所
▼ C 表示変更エリア
▼ D サムネイルアイコン



A ツールエリア

(メイン)	メイン画面を表示する。
(画像の取り込み)	画像を取り込む。
(印刷)	写真を印刷する。
(ディスク作成)	ディスクを作成する。
(編集)	画像を編集する。
(アップロード)	画像をネットワークサービスにアップロードする。
(アルバムに追加)	「PlayMemories Online」のアルバムに画像をアップロードする。
(ポストカードを送る)	「PlayMemories Online」を使って画像をポストカードで送る。

B 画像の場所

カメラとメディア	接続しているカメラや、メモリーカード、ディスクなどのメディア内の画像を表示する。
ハードディスク	パソコンのドライブや外付けハードディスク内の画像を表示する。
PlayMemories Online	「PlayMemories Online」にアップロードした画像を表示する。

C 表示変更エリア

	フォルダービュー／カレンダービューを切り換える。
	マップビューを表示する。
[年]／[月]／[日]	画像を撮影した年／月／日ごとに表示する。
	ビデオを展開表示して、一定間隔ごとにサムネイルで表示する。再度クリックすると展開表示を解除する。
	選択している画像のプロパティーを表示する。
	スライダーを動かして、サムネイルのサイズを調整できる。
	をクリックすると詳細表示に切り換わる。をクリックすると、サムネイル表示に切り換わる。

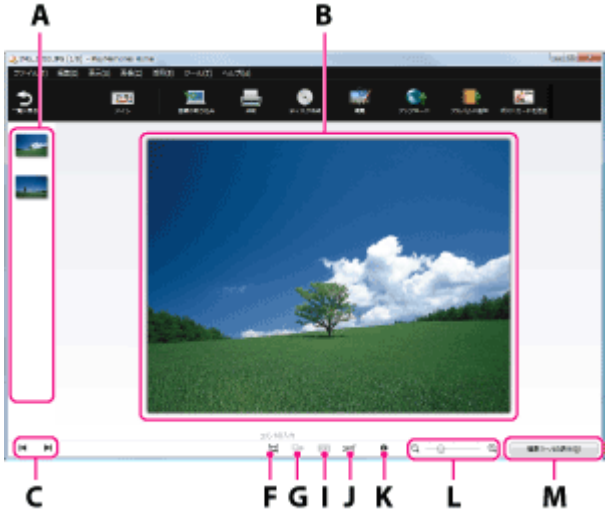
D サムネイルアイコン

	ハイビジョン（HD）画質のビデオ
	編集済みのビデオ
	RAWデータ
	RAW+JPEGデータ
	GPS位置情報付きの写真
	スイングマルチアングルの写真
	3D静止画／3Dスイングパノラマ／3D記録のビデオ
	ハイライト再生を保存したビデオ
	連写グループの代表画像
	前回取り込まれた画像
	写真･ビデオが見つからないときに表示される。この表示が必要なくなった場合は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]または[ツール]メニューの[データベースの再構築]を実行することで削除できる。
	写真･ビデオの表示ができないときに表示される。

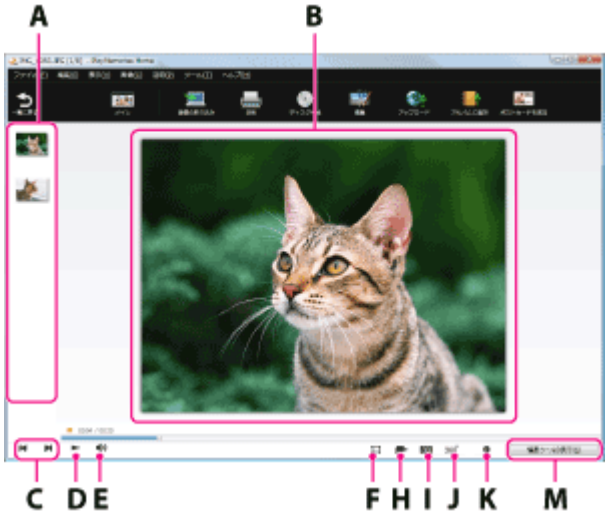
拡大表示画面の各部説明

メイン画面でサムネイルをダブルクリックすると、拡大表示画面に切り換わります。
メイン画面に戻るには、画面左上の(メイン)をクリックしてください。

写真を選んだとき



ビデオを選んだとき



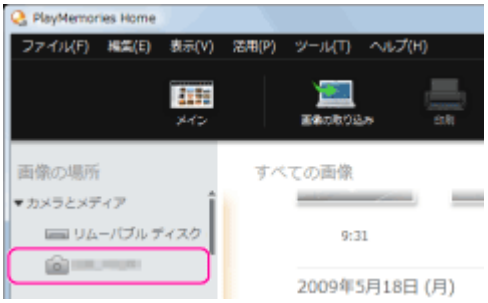
A	**サムネイル一覧**	フォルダービューで表示していた画像のサムネイル、またはカレンダービューで選んだ日付の画像のサムネイルが一覧で表示される。
B	**プレビューエリア**	選んだ画像が表示される。
C	⏮/⏭	表示する画像をサムネイル一覧の前後の画像に切り換える。
D	▶/⏸	▶をクリックするとビデオを再生する。再生中に⏸をクリックすると一時停止する。

E		をクリックすると、音量調節スライダーが表示され、音量を調節できる。[消音]にチェックを付けると、消音する。
F		クリックすると、ウィンドウサイズに合わせて写真を表示する。再度クリックすると、ウィンドウサイズに合わせた表示を解除する。
G		プレビューエリアの下部に、高速連写した写真のグループを展開表示する。再度クリックすると、展開表示を解除する。
H		プレビューエリアの下部に、ビデオを一定間隔ごとのサムネイルで展開表示する。再度クリックすると、展開表示を解除する。
I		3D記録の画像を3Dで再生する(対応機種、対応パソコンのみ)。3D再生する方法が未設定の場合は、設定してから再生する。 ● 3D再生対応パソコンでも3Dで再生できない場合がある。
J		360ビデオを再生する。(対応機種のみ)
K		選択している画像のプロパティーを表示する。
L		スライダーを動かして、プレビューのサイズを調整できる。
M		画像を編集できる編集ツールを表示する。再度クリックすると、編集ツールを非表示にする。

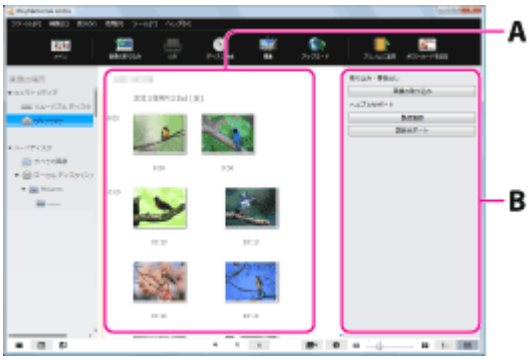
カメラ内の画像を見る／カメラに関連したツールを活用する

パソコンにつないだカメラ内の画像を見ることができます。また、カメラに関連したツールを起動したり、ウェブサイトを開いたりすることもできます。

1. カメラの電源を入れ、パソコンとつなぐ。
   - 画像の取り込み画面が表示された場合は、(メイン)をクリックしてメイン画面を表示する。
2. メイン画面の［画像の場所］で、カメラのアイコンをクリックする。



3. 大きく表示したい画像のサムネイル（A）をダブルクリックする。
   または、起動したいツールやウェブサイトのボタン（B）をクリックする。



ヒント

- カメラ内の画像のサムネイルを［画像の場所］のドライブにドラッグ＆ドロップすると、画像をパソコンに取り込むことができます。取り込み方法は、取り込み画面の設定に従います。
- つないだカメラにシェア予約された画像がある場合、［シェア予約した画像のアップロード］ボタンが表示されます。クリックすると、画像をネットワークサービスへアップロードできます。

ご注意

- 起動できるツール、ウェブサイトは、カメラによって異なります。
- 一部のツール、ウェブサイトを利用するには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

フォルダーを編集する

フォルダーを編集する

[画像の場所]で[ハードディスク]内のフォルダーを右クリックすると、次のことができます。

- フォルダーの作成
- フォルダーの削除
- フォルダー名の変更

ご注意

- フォルダーを削除すると、フォルダー内の画像もすべて削除されます。

フォルダー間で画像を移動する

画像を別のフォルダーに移動できます。

サムネイルをフォルダーにドラッグ&ドロップすると移動できます。
フォルダーごと移動するときは、移動したいフォルダーをドラッグ&ドロップします。

画像を絞り込んで表示する

画像の種類やラベル、評価などによって、画像を絞り込んで表示できます。

1. メイン画面で[編集]メニューから[検索]を選ぶ。
2. 各絞り込みタブで、表示したい項目を選ぶ。
   - [解除]をクリックすると、すべての絞り込み条件が解除される。

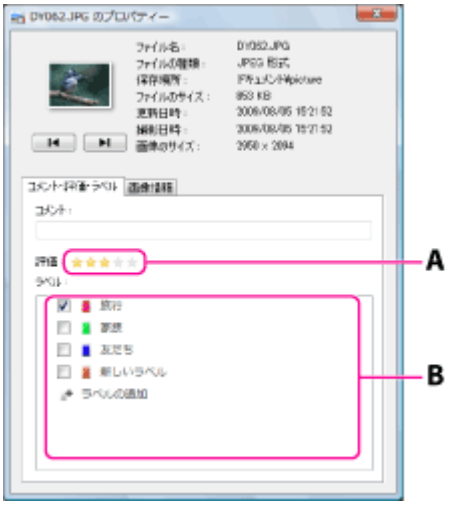
画像にラベル／評価を付ける

パソコンに取り込んだ画像に評価やラベルを付けることができます。

1. メイン画面で、評価やラベルを付けたい画像を選ぶ。
2. ⓘ をクリックする。

選んだ画像のプロパティー画面が表示される。

3. [コメント・評価・ラベル]タブを選ぶ。



評価を付けるときは

Aにカーソルを置いてクリックし、☆ マークを付ける。
☆ マークを全部消すときは、Aの左端にマウスカーソルを置き、表示される[X]をクリックする。

ラベルを付けるときは

Bからお好みのラベルのチェックボックスをクリックしてチェックを付ける。
ラベルを外すときは、チェックを外す。

ヒント

- ⏮ ／ ⏭ をクリックして前後の画像に移動できます。
- ➕（ラベルの追加）をクリックして新しいラベルを作れます。ラベルを削除するには、削除したいラベルを選び、右クリックして［ラベルの削除］を選びます。

スライドショーで再生する

好みの画像を選んで、全画面でスライドショー再生できます。
写真とビデオを組み合わせることもできます。

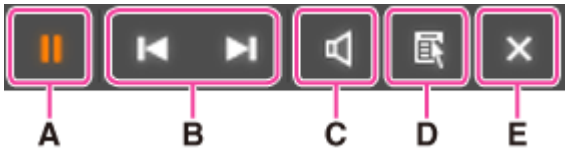
1. メイン画面で、スライドショー再生したい画像を選ぶ。
2. [活用]メニューから[スライドショー]を選ぶ。
   全画面でスライドショー再生が始まる。
   スライドショー再生を終了するには、再生画面をダブルクリックする。

ヒント

- 画像を2つ以上選んだときは、選んだ画像だけでスライドショー再生します。
- 画像を1つだけ選んだときは、フォルダービューの場合は、選んだ画像と同じフォルダーのすべての画像でスライドショー再生します。カレンダービューの場合は、選んだ画像と同じ撮影日のすべての画像でスライドショー再生します。

コントロールバーの各部説明

スライドショーで再生しているときにマウスを動かすと、スライドショー再生のコントロールバーが表示されます。



A	**再生ボタン**	をクリックすると、スライドショーを一時停止する。 をクリックすると、スライドショー再生を再開する。
B	**次／前の画像ボタン**	表示する画像を前後の画像に切り換える。
C	**音量調節ボタン(ビデオの再生時のみ)**	をクリックすると、音量調節スライダーが表示され、音量を調節できる。[消音]にチェックを付けると、消音する。
D	**ボタン**	メニューが表示される。 [スライドショーの切り替え間隔]で、画像を再生する間隔を選べる。 [画像サイズが小さい時は等倍で表示]にチェックを付けると、画像がウィンドウサイズより小さいときは、元の大きさで表示する。
E	**ボタン**	スライドショー再生を終了する。 以下の方法でも、スライドショー再生を終了できる。 ● 画面をダブルクリックする。 ● 「Esc」キーを押す。 ● 右クリックして表示されるメニューから[スライドショー終了]を選ぶ。

ヒント

- ビデオの再生時には、スライダーが表示されます。スライドすることで再生位置を変更できます。

ご注意

- コントロールバーは、一定時間マウスを動かさないと画面から消えます。再度表示するには、マウスを動かしてください。

画像を非表示にする

画像をメイン画面に表示しないように設定できます。

1. メイン画面で、非表示にする画像を選ぶ。
2. [編集]メニューから[非表示に設定]を選ぶ。
   選んだ画像が非表示に設定され、メイン画面から消える。

画像の非表示を解除する

1. [表示]メニューから[非表示画像を表示]を選ぶ。
   [表示]メニューの[非表示画像を表示]にチェックが付き、非表示に設定された画像のサムネイルがすべて表示される。
2. 非表示設定を解除する画像を選ぶ。
3. [編集]メニューから[非表示を解除]を選ぶ。
   選んだ画像の非表示設定が解除される。

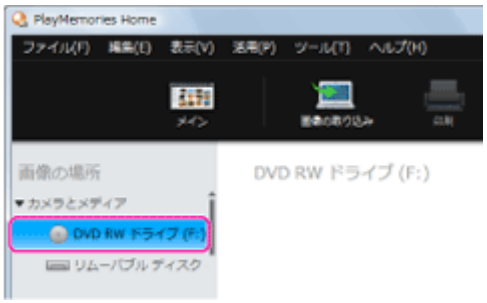
ヒント

- 非表示に設定されたサムネイルは、半透明で表示されます。
- 非表示に設定されている画像を再び非表示状態にするには、[表示]メニューから[非表示画像を表示]を選び、[非表示画像を表示]に付いているチェックを外します。

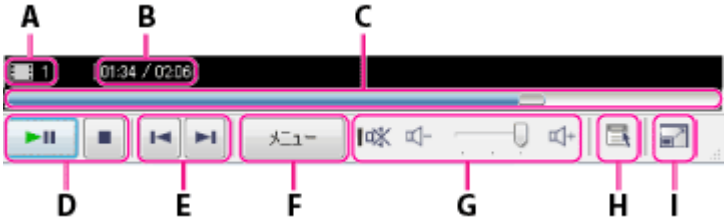
AVCHD記録ディスクを再生する

パソコンに挿入したAVCHD記録ディスクを再生できます。

1. メイン画面の［画像の場所］で、AVCHD記録ディスクを挿入したドライブを選ぶ。



2. ［Player for AVCHD］をクリックする。
［Player for AVCHD］が起動する。



A	**シーン番号**	現在再生中のシーンの番号を表示する。
B	**再生時間／シーン時間**	シーンの先頭からの再生経過時間と、シーン全体の時間を表示する。
C	**スライダー**	スライドすることで再生位置を送ったり戻したりできる。
D	**再生コントロールボタン**	▶❙❙をクリックすると、再生する。再度クリックすると、一時停止状態となる。■をクリックすると、ビデオの再生を停止する。
E	**前のシーン／次のシーンボタン**	前のシーン／次のシーンへ移動する。
F	**インデックス／メニュー表示ボタン**	シーンごとのサムネイルの一覧（インデックス）が表示される。インデックス表示中にサムネイルをクリックすると、そのシーンの先頭から再生する。 メニューのあるディスクのときは、［メニュー］ボタンになり、クリックするとメニューを表示する。
G	**音量調整ボタン**	再生音を調整できる。🔉をクリックすると音が小さく、🔊をクリックすると音が大きくなる。 🔇をクリックすると、消音する。

H	ボタン	項目一覧が表示される。 [ドライブ設定]をクリックすると、再生に使用するドライブを選択できる。 再生した画像に乱れがある場合は、[設定]をクリックする。
I	ボタン	ウィンドウ表示のとき、全画面表示に切り換える。 以下の方法でも、全画面表示に切り換えられる。 ● タイトルバーをダブルクリックする。 ● ウィンドウの最大化ボタンをクリックする。
	ボタン	全画面表示のとき、全画面表示を終了して、ウィンドウ表示に戻る。 以下の方法でも、全画面表示を終了できる。 ● 画面をダブルクリックする。 ● 「Esc」キーを押す。

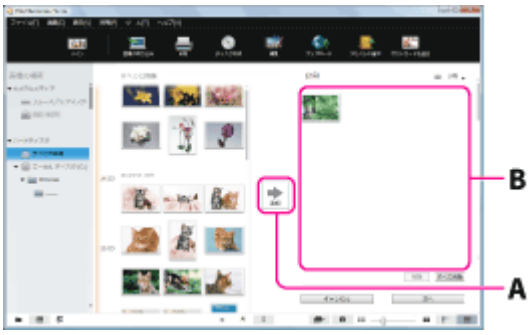
ご注意

- パソコンの環境によっては、ビデオが滑らかに再生されないことがあります。

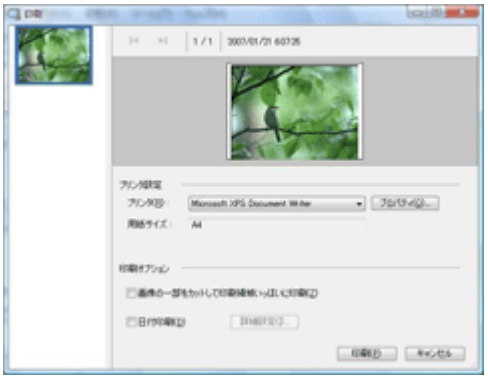
写真を印刷する

写真を選んで印刷できます。写真に日付を挿入して印刷することもできます。

1. メイン画面上部の (印刷)をクリックする。
2. サムネイルから印刷したい写真を選び、[追加](A)をクリックする。
   選んだ写真が印刷する写真の一覧(B)に追加される。
   - サムネイルをドラッグ&ドロップしても写真を追加できる。



3. 印刷する画像をすべて追加したら、[次へ]をクリックする。
   印刷画面が表示される。



4. 使用するプリンターや用紙サイズ、印刷オプションを設定する。
5. [印刷]をクリックする。
   印刷が始まる。

ヒント

- 日付を入れて印刷するには、印刷画面で[日付印刷]にチェックを付けます。
- 印刷画面で[写真の一部をカットして印刷領域いっぱいに印刷]にチェックを付けると、プリンターの印刷領域いっぱいに印刷します。そのため、画像の一部が切れることがあります。
- プリンターによっては、ふちなし印刷やExif Printの適用が選べます。
- プリンタードライバーの設定で、ICMがONになっていれば、自動でカラーマネージメント印刷されます。

ご注意

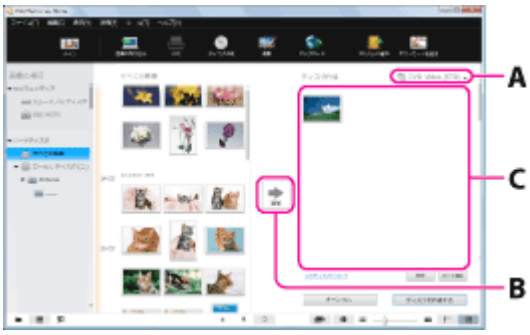
- ビデオは印刷できません。あらかじめ静止画に切り出してから印刷してください。
- RAWデータは印刷できません。あらかじめJPEGに現像を行ってから印刷してください。

標準(STD)画質のDVDディスクを作る

▼ DVDディスク作成の設定を変更する

パソコンに取り込んだビデオにメニューを付けて、標準(STD)画質のDVDディスクを作成できます。

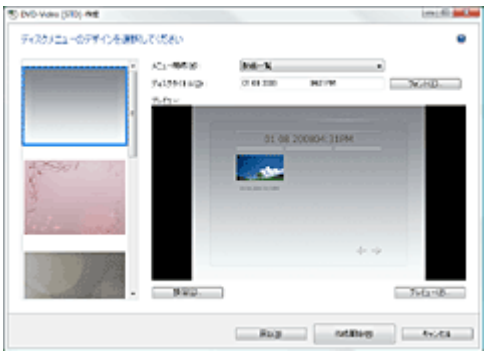
1. メイン画面上部の (ディスク作成)をクリックする。
2. ディスク選択のドロップダウンリスト(A)から[DVD-Video (STD)]を選ぶ。



3. サムネイルからディスクに書き込むビデオを選び、[追加](B)をクリックする。
   選んだビデオがディスクに書き込むビデオの一覧(C)に追加される。
   - サムネイルをドラッグ&ドロップしてもビデオを追加できる。
4. ディスクに書き込むビデオをすべて追加したら、[ディスクを作成する]をクリックする。
   ディスク作成画面が表示される。

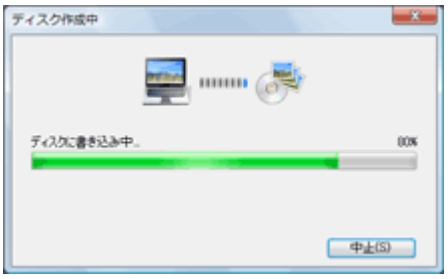
- ビデオを追加したいときは、メイン画面で追加するビデオを選び、ディスク作成画面にドラッグ&ドロップする。
- ビデオの必要な部分だけを選んでディスクに書き込むこともできる。【詳細】
- [撮影日時順に並べ替え]をクリックすると、ビデオが自動的に撮影日順に並び替わる。
- [設定]をクリックすると設定画面が表示され、ディスク初回再生時の動作や画質などを設定できる。

5. ［次へ］をクリックする。
作成されるDVDディスクのメニューのイメージ画像が表示される。



- ［メニュー構成］ドロップダウンリストをクリックすると、DVDメニューのタイトルの作成方法を選べる。
- ［フォント］をクリックすると、ディスク名 やタイトルの文字色などを選べる。
- ［プレビュー］をクリックすると、作成されるDVDディスクの出来上がりイメージを確認できる。

6. メニューを確認し、［作成開始］をクリックする。
ディスクの作成が始まる。



ご注意

- AVCHD形式のビデオを選べますが、その場合は標準（STD）画質に変換するため、ディスク作成に時間がかかります。
- 3D記録のビデオを選んだ場合、3D形式では保存されません。
- ディスクの作成には時間がかかることがあります。
- パソコンのDVDドライブでは書き込みに8cmディスクを使用することはできません。

DVDディスク作成の設定を変更する

標準（STD）画質のDVDディスク作成のときに、ディスク作成画面の［設定］をクリックして表示される画面で、DVD作成に必要な設定を変更できます。

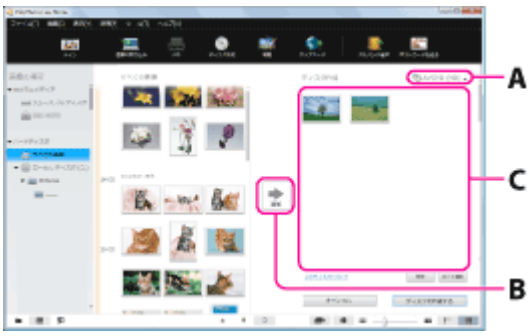
［全般］	書き込みに使用するドライブや一時ファイルの保存場所、ディスクに書き込むときの速度の設定を行う。 書き込みに使用するドライブを変更する場合は、ドロップダウンリストから使用するドライブを選択する。 一時ファイルの保存場所を変更する場合は、［参照］をクリックして表示されるフォルダーの参照画面から、フォルダーを選択する。 ディスクに書き込む速度を変更する場合は、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して書き込むか、書き込む前に毎回指定するかを選び、ラジオボタンをクリックする。初期設定では、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して、その速度で書き込む設定になっている。
［ディスク作成］	再生時の動作や、映像モード、画質の設定を行う。 ［ディスク再生時の動作］：メニュー画面を表示するか再生を開始するかを選び、ラジオボタンをクリックする。 ［DVDの映像モード］：映像モードやお住まいの地域のテレビ方式にあわせて選び、ラジオボタンをクリックする。（通常はインストール時に設定されるため、変更する必要はない。） ［DVDの画質］：AVCHD形式のビデオを変換してDVDに書き込むとき、高画質にするか標準にするかをドロップダウンリストから選択する。（MPEG-2形式のビデオは変換されない。） ［TS（AVC）形式ファイルの変換設定］：チェックを付けると、速度を優先してディスクを作成する。この場合、作成されるディスクの画質は下がる。 ［オーディオモードの設定］：チェックを付けると、すべてのビデオの音声形式を2chステレオに揃えてディスクを作成する。この場合、ディスクの作成に時間がかかる。

ハイビジョン(HD)画質のAVCHD記録ディスクを作る

▼ AVCHD記録ディスク作成の設定を変更する

パソコンに取り込んだAVCHD形式のビデオを選んで、ハイビジョン(HD)画質のAVCHD記録ディスクを作成できます。

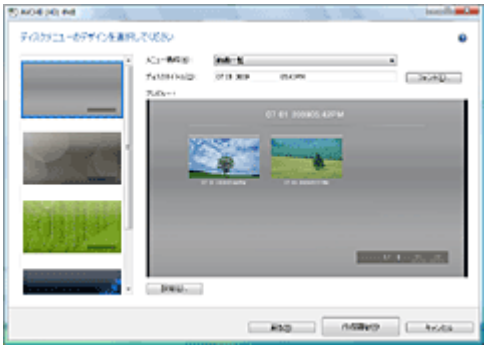
1. メイン画面上部の (ディスク作成)をクリックする。
2. ディスク選択のドロップダウンリスト(A)から[AVCHD (HD)]を選ぶ。



3. サムネイルからディスクに書き込むAVCHD形式のビデオを選び、[追加](B)をクリックする。
   選んだビデオがディスクに書き込むビデオの一覧(C)に追加される。
   - サムネイルをドラッグ&ドロップしてもビデオを追加できる。
4. ディスクに書き込むビデオをすべて追加したら、[ディスクを作成する]をクリックする。
   ディスク作成画面が表示される。

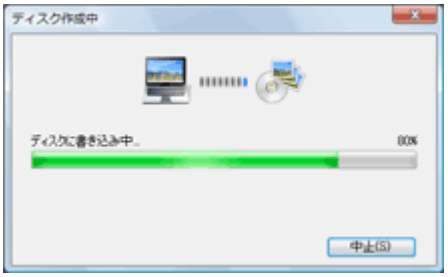
- ビデオを追加したいときは、メイン画面で追加するビデオを選び、ディスク作成画面にドラッグ&ドロップする。
- ビデオの必要な部分だけを選んでディスクに書き込むこともできる。【詳細】
- [撮影日時順に並べ替え]をクリックすると、ビデオが自動的に撮影日順に並び替わる。
- [設定]をクリックすると設定画面が表示され、ディスク初回再生時の動作や画質などを設定できる。

5. ［次へ］をクリックする。
作成されるAVCHD記録ディスクのメニューのイメージ画像が表示される。



- ［メニュー構成］ドロップダウンリストをクリックすると、ディスクメニューのタイトルの作成方法を選べる。
- ［フォント］をクリックすると、ディスク名やタイトルの文字色などを選べる。

6. メニューを確認し、［作成開始］をクリックする。
ディスクの作成が始まる。



ヒント

- AVCHD記録ディスクを「PlayMemories Home」で再生できます。操作方法について詳しくは、AVCHD記録ディスクを再生するをご覧ください。

ご注意

- 3D記録のビデオを選んだ場合、3D形式では保存されません。
- AVCHD形式以外のビデオをディスクへ書き込むことはできません。
- 録画モードがFXモード、PSモード、3Dで撮影されたビデオは変換されます。変換には時間がかかります。
- ディスクの作成には時間がかかることがあります。
- パソコンのDVDドライブでは書き込みに8cmディスクを使用することはできません。

AVCHD記録ディスク作成の設定を変更する

ハイビジョン（HD）画質のAVCHD記録ディスク作成のときに、ディスク作成画面の［設定］をクリックして表示される画面で、AVCHD記録ディスク作成に必要な設定を変更できます。

［全般］	書き込みに使用するドライブや一時ファイルの保存場所、ディスクに書き込むときの速度の設定を行う。 書き込みに使用するドライブを変更する場合は、ドロップダウンリストから使用するドライブを選択する。 一時ファイルの保存場所を変更する場合は、［参照］をクリックして表示されるフォルダーの参照画面から、フォルダーを選択する。 ディスクに書き込む速度を変更する場合は、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して書き込むか、書き込む前に毎回指定するかを選び、ラジオボタンをクリックする。初期設定では、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して、その速度で書き込む設定になっている。
［ディスク作成］	再生時の動作や、映像モードなどの設定を行う。 ［ディスク再生時の動作］：メニュー画面を表示するか再生を開始するかを選び、ラジオボタンをクリックする。 ［ディスクの映像モード］：映像モードやお住まいの地域のテレビ方式にあわせて選び、ラジオボタンをクリックする。（通常はインストール時に設定されるため、変更する必要はない。） ［シームレスディスクの設定］：チェックを付けると、シーンの切れ目で途切れずに滑らかに再生するディスクを作成する。初期設定ではチェックが付いている。シームレスディスクの作成には時間がかかる場合がある。 ［オーディオモードの設定］：チェックを付けると、すべてのビデオの音声形式を2chステレオに揃えてディスクを作成する。この場合、ディスクの作成に時間がかかる。

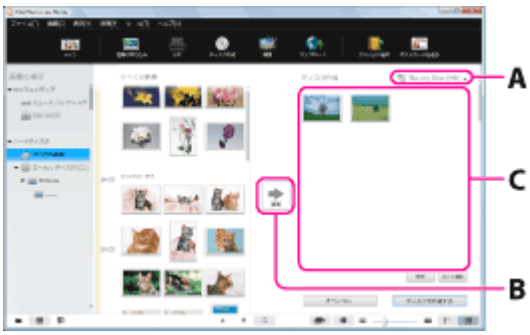
ハイビジョン(HD)画質のブルーレイディスクを作る

▼ ハイビジョン3D／ハイビジョン(60p/50p)のブルーレイディスクを作る
▼ ブルーレイディスク作成の設定を変更する

パソコンに取り込んだAVCHD形式のビデオを選んで、ハイビジョン(HD)画質のブルーレイディスクを作成できます。
ブルーレイディスクを作成するには専用のアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/

1. メイン画面上部の (ディスク作成)をクリックする。

2. ディスク選択のドロップダウンリスト(A)から[Blu-ray Disc (HD)]を選ぶ。



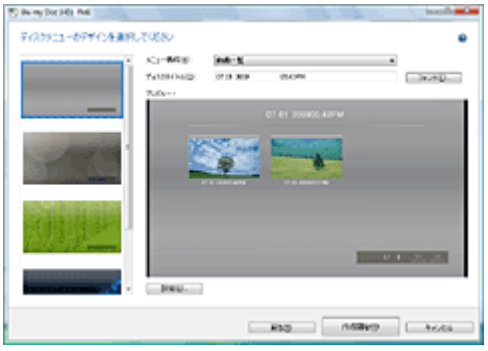
3. サムネイルからディスクに書き込むAVCHD形式のビデオを選び、[追加](B)をクリックする。
選んだビデオがディスクに書き込むビデオの一覧(C)に追加される。
- サムネイルをドラッグ&ドロップしてもビデオを追加できる。

4. ディスクに書き込むビデオをすべて追加したら、[ディスクを作成する]をクリックする。
ディスク作成画面が表示される。

5. 作成するブルーレイディスクの種類を選び、[次へ]をクリックする。
ビデオの選択画面が表示される。
ブルーレイディスクに書き込むビデオを確認する。

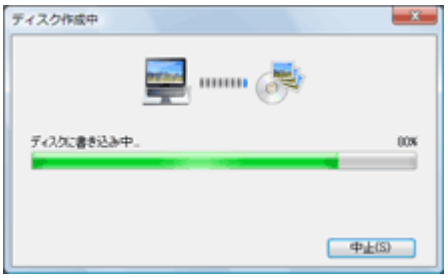
- ビデオを追加したいときは、メイン画面で追加するビデオを選び、ビデオの選択画面にドラッグ&ドロップする。
- ビデオの必要な部分だけを選んでブルーレイディスクに書き込むこともできる。【詳細】
- [撮影日時順に並べ替え]をクリックすると、ビデオが自動的に撮影日順に並び替わる。
- [設定]をクリックすると設定画面が表示され、ディスク初回再生時の動作や画質などを設定できる。
- [設定]をクリックして表示される画面で[シームレスディスクの設定]のチェックを外すと、ディスク作成時に使用する一時領域を少なくすることができる。初期設定ではチェックが付いている。

6. [次へ]をクリックする。
作成されるブルーレイディスクのメニューのイメージ画像が表示される。



- ハイビジョン3Dまたはハイビジョン(60p/50p)のブルーレイディスクのフォーマットにはメニューが無いため、このステップはない。
- [メニュー構成]ドロップダウンリストをクリックすると、ディスクメニューのタイトルの作成方法を選べる。
- [フォント]をクリックすると、ディスク名やタイトルの文字色などを選べる。

7. メニューを確認し、[作成開始]をクリックする。
   ブルーレイディスクの作成が始まる。



ご注意

- AVCHD形式以外のビデオをディスクへ書き込むことはできません。
- 録画モードがPSモードで撮影されたビデオの変換には時間がかかります。
- ブルーレイディスクを作成するには、書き込み可能なブルーレイディスクドライブがパソコンに接続されている必要があります。
- ブルーレイディスクの作成には時間がかかることがあります。
- ブルーレイディスクには追記ができません。

ハイビジョン3D／ハイビジョン(60p/50p)のブルーレイディスクを作る

手順5で[フルハイビジョン 3D またはフルハイビジョン (60p) の Blu-ray Disc を作成]を選ぶと、録画モードを変換することなくディスクを作成できます。
AVCHD規格 Ver.2.0対応のブルーレイディスクプレイヤーで再生できます。

ご注意

- メニュー画面の編集はできません。また、メニュー画面の表示は使用するプレイヤーによって異なります。

ブルーレイディスク作成の設定を変更する

ハイビジョン（HD）画質のブルーレイディスク作成のときに、ビデオの選択画面の［設定］をクリックして表示される画面で、ブルーレイディスク作成に必要な設定を変更できます。

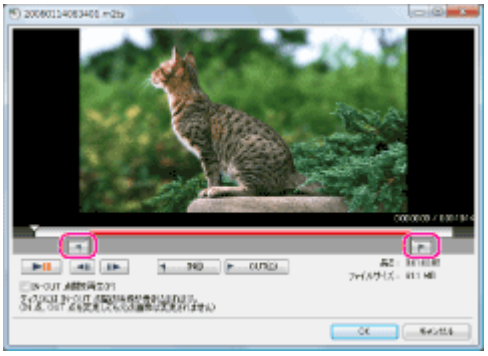
［全般］	書き込みに使用するドライブや一時ファイルの保存場所の設定を行います。 書き込みに使用するドライブを変更する場合は、ドロップダウンリストから使用するドライブを選択します。 一時ファイルの保存場所を変更する場合は、［参照］をクリックして表示されるフォルダーの参照画面から、フォルダーを選択します。
［ディスク作成］	再生時の動作や、映像モードなどの設定を行う。 ［ディスク再生時の動作］：メニュー画面を表示するか再生を開始するかを選び、ラジオボタンをクリックする。 ［ディスクの映像モード］：映像モードやお住まいの地域のテレビ方式にあわせて選び、ラジオボタンをクリックする。（通常はインストール時に設定されるため、変更する必要はない。） ［シームレスディスクの設定］：チェックを付けると、シーンの切れ目で途切れずに滑らかに再生するディスクを作成する。初期設定ではチェックが付いている。シームレスディスクの作成には時間がかかる場合や一時フォルダーの容量が大量に必要になることがある。 ［オーディオモードの設定］：チェックを付けると、すべてのビデオの音声形式を2chステレオに揃えてディスクを作成する。この場合、ディスクの作成に時間がかかる。

ビデオを編集してディスクに書き込む

ディスク作成時に、ビデオの必要な部分だけを選んで書き込めます。

1. DVDディスクを作る、AVCHD記録ディスクを作るの手順4、またはブルーレイディスクを作るの手順5のあと、ディスク作成画面で編集したいビデオをダブルクリックする。

2. 、 を動かして、IN点とOUT点（書き込みたい部分の最初と最後）を設定する。



3. 設定が完了したら、[OK]をクリックする。
ディスクに書き込む部分が設定される。

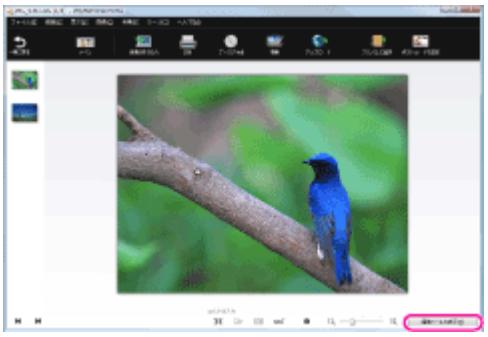
ご注意

- ディスクに書き込む部分を設定しても、元のビデオは変更されません。
- 1秒未満のビデオは編集できない場合があります。

自動で調整する

写真の明るさとコントラストを、その画像に適したレベルに合わせて自動的に補正します。

1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。
2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[自動補正]を選ぶ。



表示している写真が自動的に補正される。

3. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

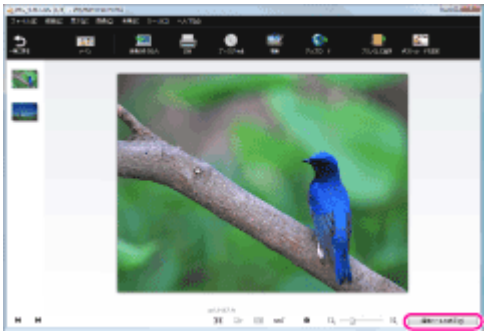
ご注意

- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

明るさ／コントラストを調整する

写真の明るさやコントラストを補正します。

1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。
2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[明るさ]を選ぶ。



明るさを調整する補正コントローラーが表示される。

3. 補正コントローラーを使って写真の補正をする。

[暗い部分]	写真の暗い部分を補正する。スライダーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなる。逆光時に撮影した画像を補正する時などに利用する。
[全体]	写真全体を補正する。スライダーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなる。
[明るい部分]	写真の明るい部分を補正する。スライダーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなる。
[コントラスト]	写真のコントラストを調整する。スライダーを右にドラッグするほど明暗の差がはっきりし、左にドラッグするほど明暗の差がなくなる。

4. 補正が完了したら、[OK]をクリックする。
補正コントローラーが閉じる。
5. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

ご注意

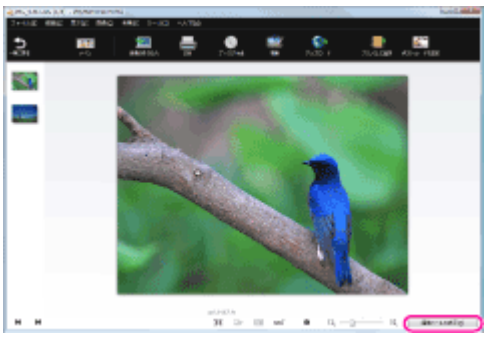
- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

彩度を調整する

写真の彩度を調整します。

1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。

2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[彩度]を選ぶ。



彩度を調整する補正コントローラーが表示される。

3. 補正コントローラーを使って写真の補正をする。
[彩度]のスライダーを右にドラッグするほど写真の色が鮮やかに、左にドラッグするほど淡くなる。

4. 補正が完了したら、[OK]をクリックする。
補正コントローラーが閉じる。

5. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

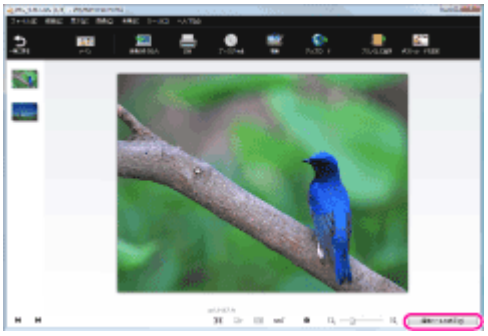
ご注意

- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

写真の輪郭を強調する(シャープネス)

写真の輪郭を強調します。

1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。
2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[シャープネス]を選ぶ。



シャープネスを調整する補正コントローラーが表示される。

3. 補正コントローラーを使って写真の補正をする。
スライダーを右にドラッグするほど写真の輪郭がくっきりする。
4. 補正が完了したら、[OK]をクリックする。
補正コントローラーが閉じる。
5. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

ご注意

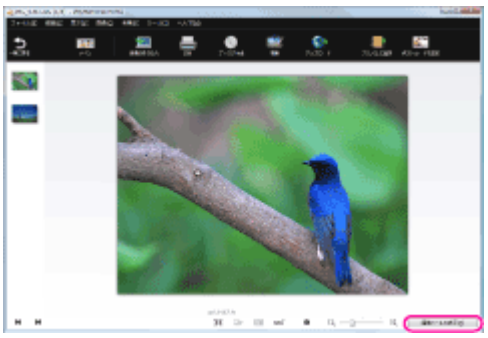
- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

トーンカーブで明るさ／コントラストを調整する

チャンネル別の明るさを補正します。

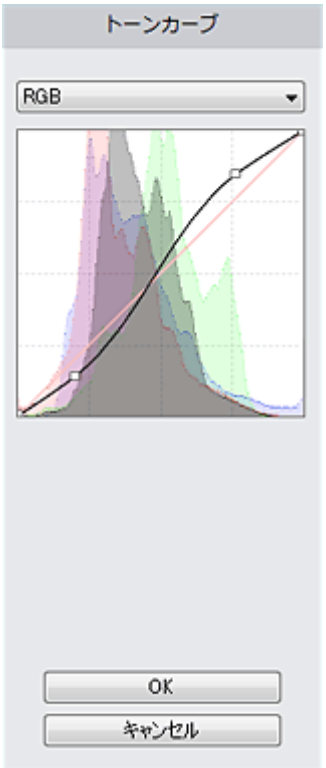
1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。

2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[トーンカーブ]を選ぶ。



トーンカーブを編集する補正コントローラーが表示される。

3. 補正コントローラーを使って写真の補正をする。
上部のドロップダウンリストに表示されているチャンネルのヒストグラムとトーンカーブが表示される。各チャンネルについて、トーンカーブを調整できる。
横軸は入力画像（元の写真）の明るさ（レベル）、縦軸が出力画像（調整後の写真）の明るさ（レベル）をあらわしている。調整前は、入力画像と出力画像の明るさ（レベル）が同じなので、トーンカーブは左下から右上に45度の直線を描いている。



ドロップダウンリストで調整したいチャンネルを選び、トーンカーブ上の制御点を移動することにより、トーンカーブの形を変え、写真の明るさを調整する。トーンカーブ上にマウスカーソルを合わせ、十字になった状態でクリックすると制御点が追加される。制御点を左上にドラッグすると明るく、右下にドラッグすると暗くなる。

- 制御点はドラッグして移動することができる。ただし、横方向に隣の制御点を越えて移動することはできない。
- 制御点はダブルクリックするかグラフの外へドロップすると、削除できる。

4. 補正が完了したら、[OK]をクリックする。
   補正コントローラーが閉じる。

5. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

ご注意

- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

赤目を補正する

写真に写っている人物の目が赤目現象を起こしている場合、赤目の部分を補正できます。

1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。
2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[赤目補正]を選ぶ。

赤目補正画面が表示される。

3. 赤目の部分をクリックする。
赤目が補正されます。
4. 補正が完了したら、[OK]をクリックする。
5. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [元に戻す]、[やり直す]をクリックすると、何度でも補正を元に戻したりやり直したりできます。

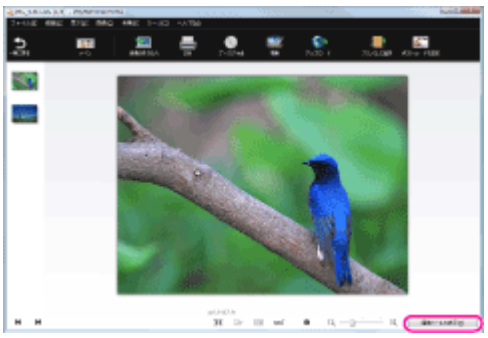
ご注意

- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

日付を挿入する

写真に日付表示を入れられます。表示形式、色、位置の指定ができます。

1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。
2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[日付挿入]を選ぶ。



日付挿入画面が表示される。

3. [表示形式]、[色]、[表示位置]を選び、[OK]をクリックする。
日付が挿入される。
4. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

ご注意

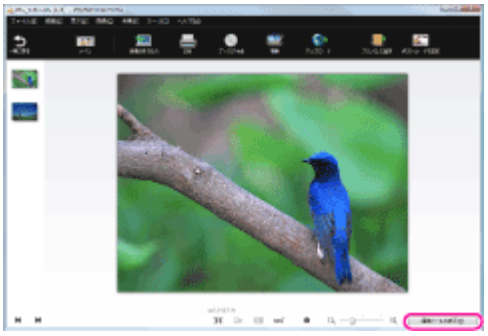
- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

写真を切り抜く(トリミング)

写真の不要な部分を削除できます。

1. メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。

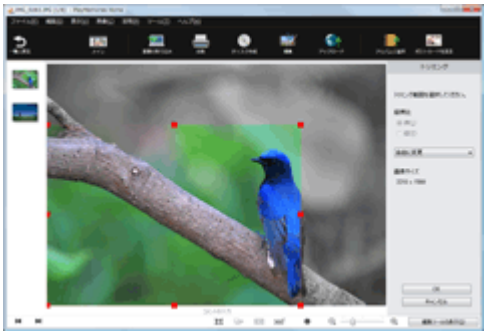
2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[トリミング]を選ぶ。



トリミング画面が表示される。

3. 8つのハンドルをドラッグして、切り抜きたい範囲を指定する。

- [縦横比]からトリミング範囲の縦横比を選択できる。
縦横比に数値を選択したときは、[横]または[縦]を選んで、選択範囲の長方形の向きを変更できる。



4. [OK]をクリックする。
写真の選択範囲外の部分が切り取られる。

5. [上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選ぶ。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

ご注意

- RAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。

写真のサイズを変更する

写真のサイズを変更して任意のフォルダーにコピーできます。

1. メイン画面で、サイズを変更する画像を選ぶ。
2. [活用]メニューから[変換]—[リサイズして保存]の順に選ぶ。
   [リサイズして保存]画面が表示される。
3. 保存先や画像サイズ、ファイル名などを変更する。
4. [保存]をクリックする。

ヒント

- サイズを変更せずに、「PlayMemories Home」に登録されていないフォルダーに写真をコピーするには、エクスプローラーなどでコピー先のフォルダーを表示し、「PlayMemories Home」のメイン画面からコピー先のフォルダーに写真をドラッグ&ドロップします。

ご注意

- ビデオ、RAWデータはリサイズできません。

撮影した日付を変更する

選択中の画像の撮影日を一括で変更できます。撮影時間の変更もできます。

1. メイン画面で、撮影日時を変更する画像を選ぶ。
2. [編集]メニューから[撮影日時の一括変更]を選ぶ。
   [撮影日時の一括変更]画面が表示される。
3. 撮影日時を変更する。
   以下の2通りの方法で変更できる。画面左側の表示で変更内容を確認できる。

[選択中の画像を基点にすべての画像の日時をずらす]	選択した画像から1つの画像の変更後の日時を指定することで、他の画像の撮影日時も同じだけずらして変更できる。
[時間を指定して日時をずらす]	メイン画面で選んだ画像に対し、どれだけ時間、分、秒を進めるまたは戻すかを指定する。

4. [OK]をクリックする。
   撮影日時が変更される。

選んだ画像の日付を変更する

1. メイン画面で、撮影日時を変更する画像を選ぶ。
2. をクリックする。

   選んだ画像のプロパティー画面が表示される。
3. [撮影日時]の値をクリックし、撮影日時を変更する。
   撮影日は、 をクリックして表示されるカレンダーから選ぶ。
   撮影時間は、クリックして表示されるスピンボックスに入力するか、 または をクリックして指定する。
4. 「Enter」キーを押すか、スピンボックス以外の部分をクリックする。
   撮影日時が変更される。

ヒント

- カレンダービューで撮影日時の変更を行った場合、表示がすぐに反映されない場合があります。すぐに反映するときは、「F5」キーを押してください。

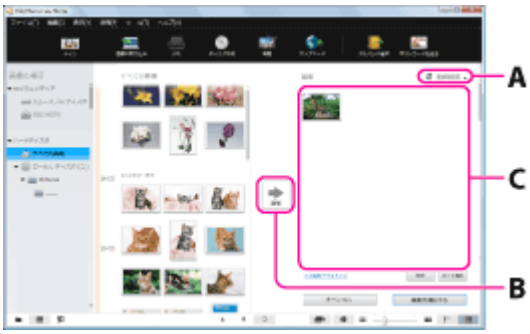
ご注意

- 一部のRAWデータは撮影日時を変更できない場合があります。

ビデオの必要な部分を切り取る

ビデオの必要な部分だけを切り取って、新しいファイルとして保存できます。

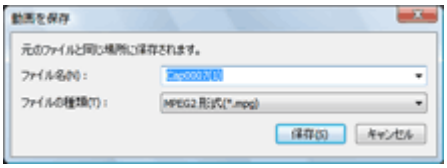
1. メイン画面上部の (編集)をクリックする。
2. 編集内容のドロップダウンリスト(A)から[動画編集]を選ぶ。



3. サムネイルから編集したいビデオを選び、[追加](B)をクリックする。
   選んだビデオが編集するビデオの一覧(C)に追加される。
   - サムネイルをドラッグ&ドロップしてもビデオを追加できる。
4. [編集を開始する]をクリックする。
   [動画編集]画面が表示される。
5. 、 を動かして、IN点とOUT点(残したい部分の最初と最後)を設定する。
   設定したIN点とOUT点の画像がサムネイルで表示される。

6. 設定が完了したら、[編集した動画を保存]をクリックする。

7. ［保存］をクリックして、編集したビデオを保存する。
   編集画面のバー上で赤く表示されている部分が保存される。
   編集後のファイルは、元のファイルと違うファイル名で保存される。



   保存には時間がかかる。完了するとメッセージが表示されるので、
   ［OK］をクリックする。

ヒント

- ［静止画で保存］をクリックすると、表示されている画像を写真として保存できます。

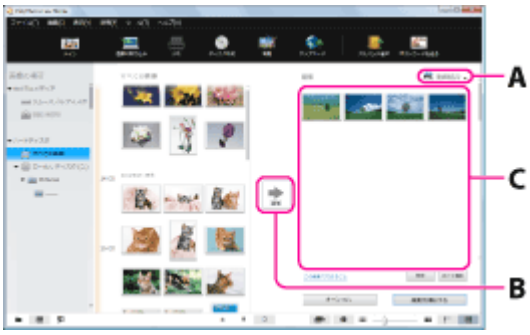
ご注意

- AVCHD形式のビデオの場合は、お使いのパソコン環境によっては保存に10分以上かかることがあります。
- シーンをつなぎ合わせたり、エフェクト（効果）やテキストを入れたりするような編集はできません。
- 1秒未満のビデオは編集できない場合があります。

ビデオを結合する

カメラで撮影したビデオを、運動会や結婚式などのイベントごとにまとめることができます。

1. メイン画面上部の (編集)をクリックする。
2. 編集内容のドロップダウンリスト(A)から[動画結合]を選ぶ。



3. サムネイルから結合したいビデオを選び、[追加](B)をクリックする。
   選んだビデオが結合するビデオの一覧(C)に追加される。
   - サムネイルをドラッグ&ドロップしてもビデオを追加できる。
4. 結合するビデオをすべて追加したら、[編集を開始する]をクリックする。
   [動画結合]画面が表示される。
   結合するビデオと順番を確認する。

   - サムネイルをドラッグ&ドロップして、順番を変更できる。
5. [結合する]をクリックする。
   ビデオが結合される。
   結合されたビデオは、先頭のビデオと同じフォルダーに保存される。

ご注意

- 結合できるのは、AVCHD形式またはMPEG-2形式のビデオのみです。それぞれ同じ形式のビデオ同士のみ結合できます。
- AVCHD形式のビデオ間においても、フレームレートが異なる場合は結合できません。
- 60p形式と50p形式のビデオなど、NTSCとPALの組み合わせでは結合できません。
- 結合可能なファイルについては、下記の表をご覧ください。

ビデオ形式			MPEG-2	AVCHD				
				60i/50i 形式		24p/25p 形式	60p/50p 形式	3D 形式
		録画モード	HQ/SP/LP	FX/FH	FX/FH 以外	FX/FH	PS	3D
MPEG-2		HQ/SP/LP	○	−	−	−	−	−
AVCHD	60i/50i 形式	FX/FH	−	○	○*1	−	−	○ *2
		FX/FH 以外	−	○*1	○	−	−	○ *2
	24p/25p 形式	FX/FH	−	−	−	○	−	−
	60p/50p 形式	PS	−	−	−	−	○	−
	3D形式	3D	−	○*2	○*2	−	−	○

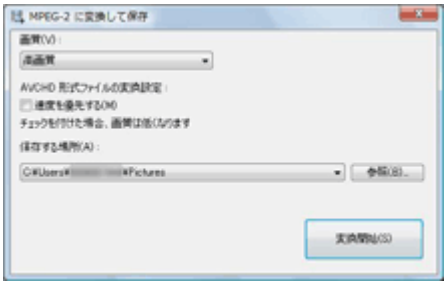
*1 結合後、ビデオのサイズは1920×1080となります。ただし、選んだビデオによっては、1920×1080にならない場合もあります。
変換には時間がかかります。
*2 結合後はAVCHD 60i/50i形式になります。

- 再エンコードには時間がかかります。

ビデオのフォーマットを変換する(MPEG-2)

カメラで撮影したAVCHD形式のビデオのフォーマットを、いろいろな場合に活用できる、より汎用性の高い形式に変換します。

1. メイン画面で、変換するビデオを選ぶ。
2. [活用]メニューから[変換]—[MPEG-2に変換して保存]の順に選ぶ。
   [MPEG-2に変換して保存]画面が表示される。



- [速度を優先する]にチェックを付けると、ビデオの変換速度が速くなる。この場合、変換されたビデオの画質は下がる。

3. 保存する場所を指定する。
4. [変換開始]ボタンをクリックする。
   ビデオが変換され、指定した場所に保存される。

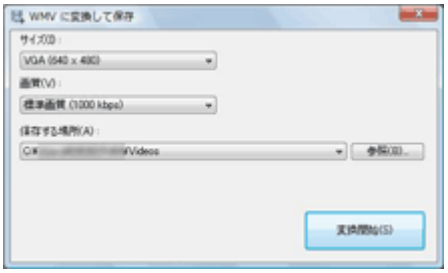
ご注意

- 3D記録のビデオを選んだ場合、3D形式では保存されません。
- 変換には時間がかかる場合があります。

ビデオのフォーマットを変換する(WMV)

カメラで撮影したビデオのフォーマットを、いろいろな場合に活用できる、より汎用性の高い形式に変換します。
WMV方式はビデオデータの圧縮形式の一種で、他の画像形式よりも圧縮率が高くファイルサイズが小さいのが特徴です。主にネットワーク配信などに使われます。

1. メイン画面で、変換するビデオを選ぶ。
2. [活用]メニューから[変換]—[WMVに変換して保存]の順に選ぶ。
   [WMVに変換して保存]画面が表示される。



3. 保存する場所を指定する。
4. [変換開始]ボタンをクリックする。
   ビデオが変換され、指定した場所に保存される。

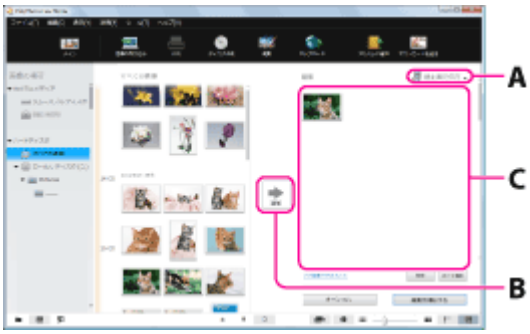
ご注意

- 3D記録のビデオを選んだ場合、3D形式では保存されません。

ビデオから静止画を切り出す

再生中のビデオの気に入った場面を静止画として保存できます。

1. メイン画面上部の (編集)をクリックする。
2. 編集内容のドロップダウンリスト(A)から[静止画で保存]を選ぶ。



3. サムネイルから静止画を切り出したいビデオを選び、[追加](B)をクリックする。
   選んだビデオが静止画を切り出すビデオの一覧(C)に追加される。
   - サムネイルをドラッグ&ドロップしてもビデオを追加できる。
4. [編集を開始する]をクリックする。
   [静止画で保存]画面が表示される。

5. 静止画として保存したいシーンで、 をクリックする。
6. [保存]をクリックする。
   静止画が保存される。

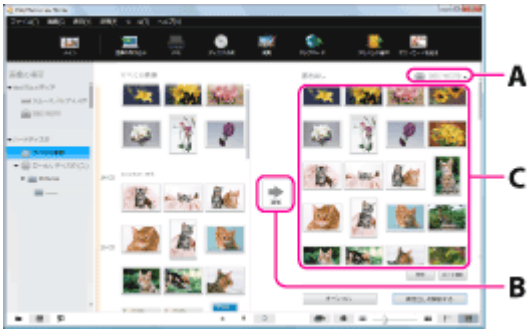
ヒント

- 切り出した静止画は元のビデオと同じフォルダーに保存されます。
- 指定したシーンの画像に、前後のビデオから情報を補間することで高解像度化します。高解像度化の効果はシーンによって異なります。

カメラや記録メディアに画像を書き出す

“メモリースティック”などの光学ディスク以外のメディア（メモリーカード）や外付けハードディスク、カメラのハードディスク、内蔵メモリーなどへ画像を書き出せます。

1. カメラの電源を入れ、パソコンとつなぐ。
2. メイン画面で[活用]メニューから[書き出し]を選ぶ。
3. 書き出し先のドロップダウンリスト（A）から画像を書き出す機器を選ぶ。



4. サムネイルから書き出す画像を選び、[追加]（B）をクリックする。
選んだ画像が書き出す画像の一覧（C）に追加される。
- サムネイルをドラッグ&ドロップしても画像を追加できる。

5. 書き出す画像をすべて追加したら、[書き出しを開始する]をクリックする。
[画像の書き出し]画面が表示される。

- 写真を書き出すときは、[設定]をクリックして[写真の画像サイズを変更する]にチェックを付けると、書き出す画像のサイズを変更できる。

6. [書き出し開始]をクリックする。
画像の書き出しが始まる。

7. 書き出し完了の画面が出たら、[OK]をクリックする。

ヒント

- カメラとパソコンのつなぎかたについては、付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンにメモリーカードスロットがある場合は、メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入することで、カメラを接続することなく画像を書き出せます。

ご注意

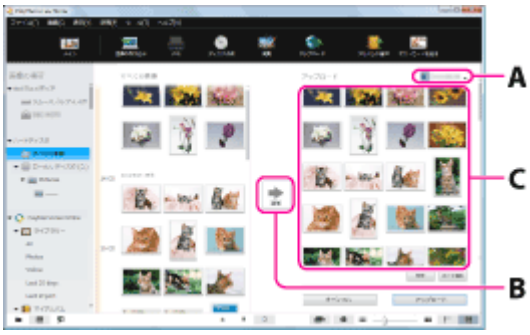
- RAW、HDV、DV、MPEG-2形式の画像は書き出せません。
- USB給電機能がないカメラの場合、電源はACアダプターの使用をおすすめします。ACアダプターがない場合は、十分に充電したバッテリーをご利用ください。
- 画像の書き出し中に、パソコンとカメラの接続状態を解除しないでください。
- ファイルによっては書き出せないことがあります。
- 書き出し非対応カメラの場合、画像を書き出せません。
- 機器の記録形式に対応したファイル名で書き出します。
- 撮影したカメラ以外のカメラへの画像の書き出し、また、撮影したカメラ以外のカメラでの画像の再生は、動作を保証いたしません。

ネットワークサービスにアップロードする

▼「PlayMemories Online」に画像をアップロードする

お使いのネットワークサービスに、画像を簡単にアップロードできます。

1. メイン画面上部の (アップロード)をクリックする。
2. アップロード先のドロップダウンリスト(A)からアップロードするネットワークサービスを選ぶ。



3. サムネイルからアップロードしたい画像を選び、[追加](B)をクリックする。
   選んだ画像がアップロードする画像の一覧(C)に追加される。
4. アップロードする画像をすべて追加したら、[アップロード]をクリックする。
   アップロード画面が表示される。
5. 表示されるネットワークサービスのアップロード画面に従って、画像をアップロードする。
   - アップロードする写真のサイズやビデオの長さ、画質の設定などができる。

ヒント

- アップロード画面について詳しくは、アップロード画面の各部説明をご覧ください。
- ネットワークサービスを追加する場合は、[ツール]メニューから[設定]—[ツールバー]—[ネットワークサービスの登録]の順に選んでサービスを追加できます。
- サイズ上限を超えるときは圧縮変換してアップロードすることができます。

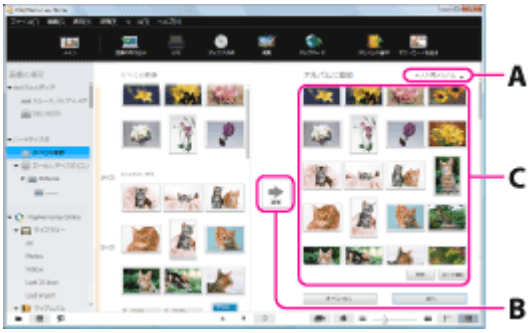
ご注意

- ネットワークサービスによっては、ハイビジョン(HD)画質のビデオをアップロードできない場合があります。
- 事前に、各ネットワークサービスのウェブサイトでアカウントを作成しておく必要があります。
- ネットワークサービスによって画面の表示や機能は異なります。
- ネットワークサービスによってアップロードできる画像の種類(ビデオ／写真)は異なります。
- ログイン情報にネットワークサービスのウェブサイトで取得したアカウント、パスワードを入力する必要があります。保存している場合は入力する必要はありません。

「PlayMemories Online」に画像をアップロードする

ソニー提供のネットワークサービス「PlayMemories Online」に画像をアップロードして、指定した家族や友人とプライベートに画像を共有できます。

1. メイン画面上部の (アルバムに追加)をクリックする。
2. 送り先のドロップダウンリスト(A)からアップロードするアルバムを選ぶ。



3. サムネイルからアップロードしたい画像を選び、[追加](B)をクリックする。
   選んだ画像がアップロードする画像の一覧(C)に追加される。
4. アップロードする画像をすべて追加したら、[アップロード]をクリックする。

ヒント

- [ツール]メニューの[PlayMemories Online の設定]から、[アカウント]、[自動アップロード]の設定や、アップロード時の画像サイズ変換を設定できます。
- アップロードと同時に、アルバムをシェアしているメンバーへメールを送信できます。アルバム、その他について詳しくは、「PlayMemories Online」のウェブサイトをご覧ください。

ご注意

- 初めて「PlayMemories Online」をお使いになるときは、アカウントの登録が必要です。
- ログイン画面で「PlayMemories Online」のウェブサイトで取得したアカウント、パスワードを入力する必要があります。自動的にログインする設定の場合は入力する必要はありません。
- 「PlayMemories Online」は、地域によっては対応していない場合があります。

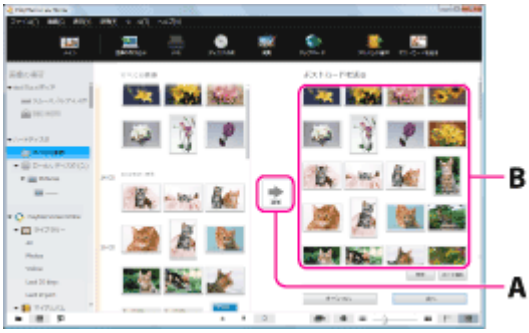
アップロード画面の各部説明

A	**サムネイル一覧**	アップロードする画像のサムネイルが一覧で表示される。 ／ボタンをクリックすると、画像を回転できる。 [編集]ボタンをクリックすると、画像にコメントを付けたり、アップロードするビデオの長さを調整できる。
B	**アップロード先のアルバム（アルバム対応サービスのみ）**	アップロード先のアルバムを選ぶ。アルバムをウェブ上で公開するかどうか設定する。
C	**ビデオの公開設定**	ビデオをウェブ上で公開するかどうか設定する。
D	**設定**	アップロード時の画像変換設定ができる。
E	**アップロード**	ネットワークサービスにアップロードする。
F	**キャンセル**	ネットワークサービスへのアップロードを中止して、アップロード画面を閉じる。

ポストカード／電子メールで送る

「PlayMemories Online」でビデオや写真をポストカードとして送信できます。

1. メイン画面上部の （ポストカードを送る）をクリックする。
2. サムネイルからポストカードで送信したい画像を選び、[追加]（A）をクリックする。
   選んだ画像が送信する画像の一覧（B）に追加される。
   - サムネイルをドラッグ&ドロップしても画像を追加できる。



3. ポストカードで送信する画像をすべて追加したら、[次へ]をクリックする。
   ポストカード送信画面が表示される。
4. ポストカード送信画面でテーマ、宛先、件名、本文を選択または入力し、[送信]をクリックする。
   ポストカードが送信される。

ヒント

- 「PlayMemories Online」非対応地域の場合や、お使いのメール送信用ソフトウェアで画像をメール送信したい場合は、メイン画面で送信する画像を選び、[活用]メニューから[（ソフトウェア名）でメールを送る]を選んでください。お使いのメール送信用ソフトウェアが起動します。

ご注意

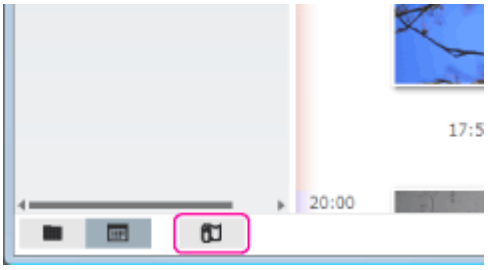
- 初めて「PlayMemories Online」をお使いになるときは、アカウントの登録が必要です。
- ログイン画面で「PlayMemories Online」のウェブサイトで取得したアカウント、パスワードを入力する必要があります。自動的にログインする設定の場合は入力する必要はありません。
- 「PlayMemories Online」は、地域によっては対応していない場合があります。非対応地域では （ポストカードで送る）は表示されません。

マップビューを使う

▼ 位置情報とマークについて
▼ GPSログを取り込んで経路を表示する

マップビューを使うと、位置情報を持つ画像の撮影位置を地図上に表示したり、位置情報を変更したりできます。また、GPSログを取り込むと経路も表示できます。位置情報を持たない画像の場合、地図上で撮影位置を選び、位置情報を付けて保存することができます。

1. メイン画面で、地図上に表示したい画像を選ぶ。
2. をクリックする。



マップビューのメイン画面が表示される。
位置情報を持つ画像の場合、撮影位置が地図上に表示される。
位置情報を持たない画像の場合、撮影位置を決めるための地図が表示される。

地図及び航空写真はGoogle Mapsによって提供されています。

A	**サムネイル一覧**	選択されている画像のサムネイルが表示される。 位置情報を持つ画像には が表示される。 を他の画像にドラッグ&ドロップすると、位置情報をコピーできる。 サムネイルを右クリックすると、位置情報の変更や一覧からの削除ができる。

B	**地図表示エリア**	サムネイル一覧に表示されている位置情報を持つ画像の撮影位置を示すマークが地図上に表示される。【詳細】 表示された地図は、マウス操作で表示位置を動かしたり、拡大／縮小できる。
C	**ボタン**	撮影位置を変更した画像の位置情報を保存したり、サムネイル一覧に表示されている選択状態を保存できる。また、保存した選択状態を呼び出して表示したり、削除することもできる。【詳細】
D	**ボタン**	クリックして表示されるメニューから、電子メールで画像を送ったり、Google Earth用のファイルを出力したりできる。【詳細】
E	**ボタン**	クリックすると、[ルート設定]画面が表示される。経路の表示色設定など、経路表示の設定ができる。【詳細】 （ボタンは、表示可能なGPSログが取込まれている場合のみ表示される。）
F	**ボタン**	クリックすると、GPSログの一覧が表示される。【詳細】 （ボタンは、表示可能なGPSログが取込まれている場合のみ表示される。）
G	**ボタン**	クリックすると、マップビュー上の画像をスライドショーで再生する。

ヒント

- 起動したマップビューのメイン画面上に「PlayMemories Home」から画像をドラッグ&ドロップすると、マップビューに画像を追加して表示できます。
- 位置情報を削除するには、「PlayMemories Home」の[編集]メニューから[位置情報の削除]を選んでください。
- GPS機能搭載のカメラで撮影したビデオの場合、動画ファイル自体に位置情報が残る場合があります。

位置情報とマークについて

地図上に表示されるマークは、以下の通りです。

	位置情報を持つ画像の撮影位置を示す。
	方位情報を持つ画像の撮影位置、方位を示す。
	地図上でドラッグ&ドロップして、撮影位置を変更できる。方位編集中は、画像の撮影方位の目標になる。
	グループ化された画像を示す。 をクリックすると、グループに含まれる各画像のマークが表示される。 一度に30枚以上の画像を追加した場合に、追加された画像の中で位置の近いものがグループ化される。また、サムネイル一覧から複数の画像を選んで地図上にドラッグ&ドロップした場合もグループ化される。

撮影位置を示すマークやサムネイル一覧で位置情報を持つ画像をクリックすると、その位置で撮影された画像がふき出しで表示されます。
ふき出しの写真をクリックすると拡大し、もう一度クリックすると拡大が解除されます。ふき出しのビデオをクリックすると、ビデオが再生されます。

画像の撮影位置を変更／決定するには

位置情報を持つ画像は、ふき出しで表示された画像の[プロパティー]タブをクリックして[位置編集]をクリックし、地図上の をドラッグ&ドロップします。
位置情報を持たない画像は、サムネイル一覧の画像をクリックするか、地図上にドラッグ&ドロップすると、地図上に表示できます。地図上の をドラッグ&ドロップして、撮影位置を決めます。

画像の方位を変更するには

方位情報を持つ画像は、ふき出しで表示された画像の[プロパティー]タブに[方位編集]ボタンが表示されます。[方位編集]をクリックすると、一時的に地図上の他の画像のマークは非表示になります。地図上の任意の場所をクリックして、画像の撮影方位を変更します。

GPSログを取り込んで経路を表示する

GPSログ記録対応カメラやGPSユニットで記録したGPSログを取り込んで、地図上に経路を表示できます。
をクリックすると、GPSログの一覧が表示され、選んだGPSログの経路が表示されます。
をクリックすると、[ルート設定]画面が表示され、経路の表示色設定など、経路表示の設定ができます。

- カメラからGPSログを取り込む場合は、[ツール]メニューから[設定]—[取り込み]の順に選び、GPSログ取得の設定をしてください。【詳細】
  画像を取り込むときに、まだ取り込んでいないGPSログも取り込まれます。
- GPSユニットでGPSログを記録した場合、経路を表示するにはGPS Image TrackerでGPSログファイルを取り込む必要があります。
- [画像と同じ日の軌跡]をクリックすると、画面左のサムネイル一覧に表示されている画像と同じ日に取得された経路が地図上に表示されます。
- GPSログを選んで をクリックすると、不要なGPSログを削除できます。

マップビューを保存する

変更した位置情報や選択状態を保存する

をクリックし、表示されるメニューから[マップビューの新規保存]、または[マップビューを上書き保存]を選びます。
[マップビューの新規保存]を選んだ場合、表示される画面の[マップビューの名称]に名前を入力し、[保存]をクリックします。

ヒント

- 選択状態は、[マイドキュメント]－[Sony PMB]－[MapView]に保存されます。

保存した選択状態を表示する

をクリックし、表示されるメニューから保存した選択状態の名前を選ぶと、サムネイル一覧と地図表示エリアに保存された選択状態が表示されます。

保存した選択状態を削除する

をクリックし、表示されるメニューから削除する選択状態を選びます。
再度 をクリックし、[選択マップビューを削除]を選びます。

ご注意

- 保存できる選択状態の数は、255個までです。
- 保存した選択状態を呼び出したときに画像が見つからない場合、サムネイル一覧に が表示されます。再度表示するには、「PlayMemories Home」で地図上に表示する画像を選択し、マップビューを起動してください。

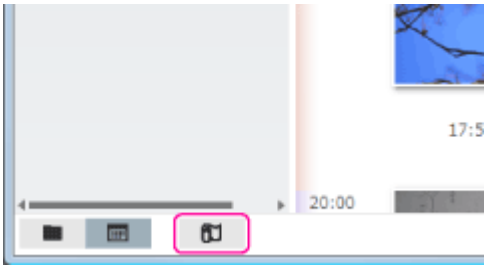
マップビューを活用する

▼ 電子メールで送る
▼ Google Earth向けのファイルを出力する

電子メールで送る

メール送信用ソフトウェアを起動し、マップビューをメールに添付して送れます。

1. メイン画面で、添付する画像を選ぶ。
2. をクリックする。



マップビューのメイン画面が表示される。

- 画像に位置情報がない場合は、サムネイルをクリックして位置情報を設定できる。

3. 画面右下の をクリックして、[選択マップビューをメールで送る]を選ぶ。
   - 電子メールに画像付きの地図ファイルが添付される。

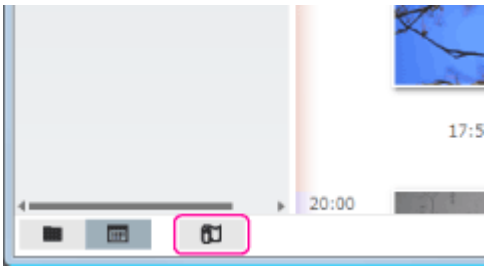
ご注意

- お使いの電子メールソフトウェアでMAPIが有効になっている必要があります。MAPIについて詳しくは、電子メールソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

Google Earth向けのファイルを出力する

画像をGoogle Earth上に表示するためのファイルを出力できます。

1. メイン画面で、出力する画像を選ぶ。
2. をクリックする。



マップビューのメイン画面が表示される。

- 画像に関連したルート情報または位置情報がない場合は、Google Earth用のファイルを出力できない。サムネイルをクリックして位置情報を設定する。

3. 画面右下の をクリックして、[Google Earth用のファイルを出力する]を選ぶ。
   フォルダーの選択画面が表示される。

4. 出力先のフォルダーを選び、[OK]をクリックする。
   Google Earth用のファイルが出力される。

ご注意

- —[Google Earth用のファイルを出力する]で出力したファイルをご覧になるには、Google Earthのインストールが必要です。
- お使いのGoogle Earthのバージョンによっては、正常に表示されない場合があります。

スイングマルチアングルの写真を「PlayMemories Home」上で再生する

▼ 気に入った画像を静止画として保存する

スイングマルチアングルで撮影した写真を立体的な画像として見ることができます。

1. メイン画面で、表示したいスイングマルチアングルの写真をダブルクリックする。
   - スイングマルチアングルの写真は、サムネイルに が表示される。

2. 画像を左右にドラッグする。
   ドラッグ操作に合わせて、画像の表示が切り替わる。

ご注意

- スイングマルチアングルの写真は対応しているカメラでのみ撮影できます。

気に入った画像を静止画として保存する

1. 上記の手順2で、保存したい画像を表示する。
2. 画面右下の[編集ツールの表示]をクリックして編集ツール一覧を表示し、[この画像を切り出す]を選ぶ。
   [名前を付けて保存]画面が表示される。
3. ファイル名を変更して、[保存]をクリックする。
   表示されている画像がJPEGファイルとして保存される。

スイングマルチアングルの写真／連写画像／ビデオを変換する

スイングマルチアングルの写真、連写グループ、ビデオをHTMLまたはアニメーションGIF形式に変換できます。HTMLに変換すると、画像の上でマウス動かすとアニメーション動作します。

1. メイン画面で、変換するスイングマルチアングルの写真、連写グループ、またはビデオをを選ぶ。

2. [活用]メニューから[変換]—[HTML/アニメーション GIF形式に変換]の順に選ぶ。
   変換の設定画面が表示される。

3. [変換形式]、[サイズ(幅)]を設定する。
   - [タイトル]を変更することで、HTMLのタイトルや出力ファイル／フォルダー名を変更できる。

4. [変換後の処理方法]で[添付ファイルとして電子メールで送信]または[デスクトップに保存]を選ぶ。
   - [添付ファイルとして電子メールで送信]を選んだ場合は、自動的にZIP形式で圧縮される。

5. [変換]をクリックする。
   画像が変換され、[変換後の処理方法]で選んだ処理が行われる。

ご注意

- スイングマルチアングルの写真は対応しているカメラでのみ撮影できます。
- 2秒未満のビデオは変換できません。

他のプログラムで画像を活用する

パソコンにインストールされている他のプログラムを呼び出して、画像を活用できます。

1. メイン画面で、画像を選ぶ。
2. [活用]メニューから[プログラムから開く]を選び、画像を開くプログラムを選ぶ。
   プログラムで画像が開く。

プログラムを登録する

1. メイン画面で、[ツール]メニューから[設定]を選ぶ。
   設定画面が表示される。
2. [ツールバー]を選び、[プログラムの追加]をクリックする。
   登録されているプログラムの一覧が表示される。
   - [追加]をクリックすると、プログラム一覧にプログラムを追加できる。
   - プログラムを選んで[編集]をクリックすると、選択中のプログラムの登録を変更できる。
   - プログラムを選んで[削除]をクリックすると、選択中のプログラムを一覧から削除できる。
   - プログラムを選んで[上へ]をクリックすると、選択中のプログラムの順序が一つ上がる。
   - プログラムを選んで[下へ]をクリックすると、選択中のプログラムの順序が一つ下がる。

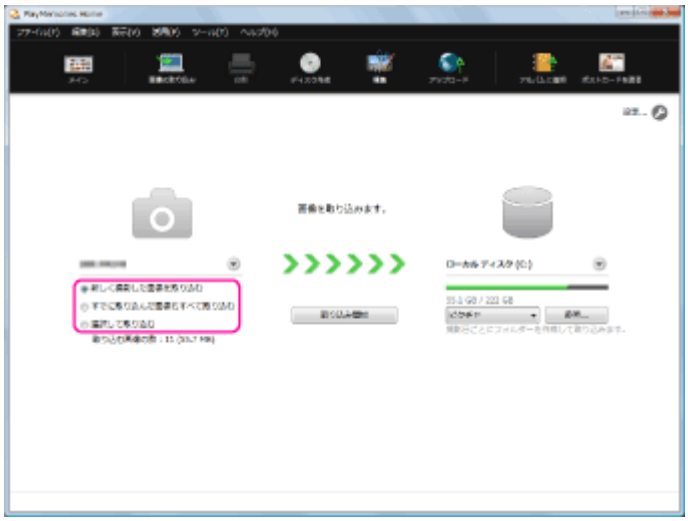
よくある質問

▼ 画像の取り込みについて
▼ 画像の閲覧について
▼ 画像の編集について
▼ 画像の活用について
▼ その他

画像の取り込みについて

Q.　以前取り込んだ画像が何度も取り込まれてしまいます。

A.　取り込み方法で[すでに取り込んだ画像もすべて取り込む]にチェックが付いている場合、カメラを接続したときに、記録されている画像はすべて取り込まれます。
[新しく撮影した画像を取り込む]または[選択して取り込む]にチェックを付けてください。



取り込み方法は、カメラを接続したときに表示される画像の取り込み画面で設定できます。

Q.　「PlayMemories Home」を使って、撮影した画像を外付けハードディスクドライブに取り込むことはできますか？

A.　できます。
取り込み画面で、保存先をパソコンに認識されている外付けハードディスクのドライブに設定してください。
取り込み先フォルダーの変更方法は、こちらをご覧ください。

Q. “ハンディカム”に記録した画像を「PlayMemories Home」に取り込めません。

A. お使いの“ハンディカム”の機種によっては、パソコンに画像を取り込むときに、USB接続の選択が必要となる場合がります。
USB接続したときに、“ハンディカム”本体に表示される［USB機能選択］画面で、取り込みたい画像が入っている記録メディアを選択してください。
接続方法については、“ハンディカム”に付属の取扱説明書をご覧ください。

Q. パソコンに取り込んだビデオファイルが分割されています。

A. ビデオを撮影中にファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されます。
（カメラでは、1つのファイルとして連続で再生されます。）
「PlayMemories Home」でビデオを取り込むことで、分割されたファイルを結合できます。

ご注意

- ファイルを結合できるのは、ご使用のパソコンのファイルシステムがNTFSまたはexFATの場合です。ファイルシステムがFAT32の場合は、結合されません。ファイルシステムは、取り込み先ドライブのプロパティで確認できます。ファイルシステムの変更方法はご使用のパソコンのメーカーにご確認ください。
（ファイルシステム変更時には、既存のデータが消失する危険がありますので、データのバックアップ等が必要になります。）
- 分割されたファイルを市販の編集ソフトで取り込むと、音声が途切れることがあります。市販の編集ソフトをご利用になる場合でも、パソコンへのファイルの取り込みには「PlayMemories Home」をお使いください。

Q. ディスクから画像をパソコンに取り込めますか?

A. 「PlayMemories Home」で作成した動画のディスクであれば取り込めます。パソコンのディスクドライブにディスクを挿入し、 (画像の取り込み)をクリックしてください。
画像を取り込む方法については、こちらをご覧ください。

Q. Wi-Fi機能搭載カメラで、Wi-Fiを使用した取り込みができません。

A. お使いのセキュリティーソフトのファイアウォールの設定によっては、機器を認識できない場合があります。詳しくはセキュリティーソフトのウェブサイトをご覧ください。
ワイヤレス通信ではUDPポート：1900、TCPポート：2869を使用しています。

画像の閲覧について

Q. パソコンに保存した画像を「PlayMemories Home」で閲覧できません。

A. 「PlayMemories Home」を使用せずにパソコンに保存した画像を「PlayMemories Home」で閲覧したい場合は、画像が入っているフォルダーを「PlayMemories Home」に登録する必要があります。
フォルダーを登録すると、登録したフォルダーとそのサブフォルダーすべてに入っている画像を「PlayMemories Home」で管理できるようになります。
フォルダーの登録方法については、こちらをご覧ください。

Q. 外付けハードディスクに保存した画像を「PlayMemories Home」で閲覧できません。

A. 「PlayMemories Home」で画像を閲覧したい場合は、画像が入っているフォルダーを「PlayMemories Home」に登録する必要があります。
[ファイル]メニューから[フォルダーの登録]を選び、表示された画面でパソコンに認識されている外付けハードディスクのドライブを選んでください。
フォルダーを登録すると、フォルダー内の画像がデータベースに登録されます。
フォルダーの登録方法については、こちらをご覧ください。

Q. フォルダー名、ファイル名は変更できますか？

A. できます。
フォルダー名を変更するには、変更したいフォルダーを右クリックして[フォルダー名の変更]を選びます。
ファイル名を変更するには、変更したいファイルを右クリックして[ファイル名の変更]を選びます。

Q. マップビューとは何ですか？

A. 位置情報を持つ画像の撮影位置をオンライン地図上に表示する機能です。
また、位置情報を持たない画像でも、地図上で位置情報を決定し、保存することができます。
（地図は、Google Inc.によって提供されています。）
操作方法について詳しくは、こちらをご覧ください。

ヒント

- GPS機能搭載のカメラおよび別売のGPSユニットキットをご利用になると、撮影時に位置情報を付けることができます。

画像の編集について

Q.　どのような編集や調整ができますか？

A.　写真、ビデオに対して、以下の編集や調整などができます。

写真：

- 日付の挿入
- 明るさ/コントラストの自動調整
- トリミング/リサイズ
- 赤目補正
- 彩度の調整
- シャープネスの調整
- トーンカーブでの明るさ補正

ビデオ：

- AVCHD形式およびMPEG-2形式のビデオの不要部分のカット、結合
- 静止画の切り出し
- フォーマットの変更（WMV等に変換）

ご注意

- ビデオの編集で、シーンの変わり目にエフェクト（効果）を入れるような編集はできません。
- お使いのカメラによって編集できる内容は異なります。お使いの機種によっては、これらの編集内容に対応していない場合があります。

Q.　複数の写真に一度に日付を挿入できますか？

A.　「PlayMemories Home」上で写真に日付を挿入して保存したい場合は、1枚ずつの操作となり、複数の写真を一度に加工することはできません。
写真に日付を入れる方法については、こちらをご覧ください。

なお、日付を入れて印刷したい場合は、複数の写真を選択して、一度に日付を入れて印刷することができます。
操作方法については、こちらをご覧ください。

Q.　「PlayMemories Home」でビデオを結合することはできますか？

A.　「PlayMemories Home」ではAVCHD形式およびMPEG-2形式のビデオをそれぞれ結合できます。
その他の記録方式のビデオは結合できません。
AVCHD形式、MPEG-2形式以外の記録方式のビデオを結合するには、市販の編集ソフトが必要です。

「PlayMemories Home」で結合可能なファイルの組み合わせについては、こちらをご覧ください。

画像の活用について

Q.　「PlayMemories Home」で取り込んだ画像を外付けハードディスクにコピー（バックアップ）できますか？

A.　できます。
画像ファイル個別にではなく、フォルダーごとに、外付けハードディスクへコピーしてください。

1 メイン画面で、[ツール]メニューから[設定]を選ぶ。
設定画面が表示される。

2 [フォルダーの登録]を選び、登録されているフォルダーを確認する。
登録されているフォルダーにはチェックが付いている。

3 [キャンセル]をクリックして、設定画面を閉じる。

4 手順2で確認したフォルダーをエクスプローラーで表示し、フォルダーごと外付けハードディスクにドラッグ&ドロップする。

ヒント

- 同じドライブ内にある別のフォルダーにドラッグ &ドロップすると「コピー」ではなく「移動」の操作になります。
元のフォルダーを残したままバックアップ（コピー）をするには、キーボードの「Ctrl」キーを押したままドラッグ &ドロップを行ってください。
その他のコピーや移動の手順はWindowsの操作手順をご確認ください。

ご注意

- フォルダー内のファイルを個別に選んでバックアップを行うと、正しいファイル情報が復元されない場合があります。データをバックアップする際は、必ずフォルダー単位でコピーしてください。

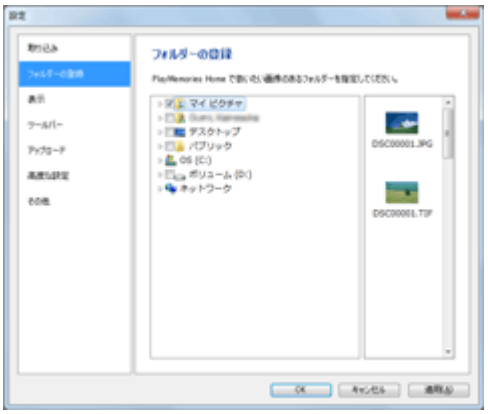
その他

Q.　取扱説明書はありますか？

A.　「PlayMemories Home」の取扱説明書はありません。
「PlayMemories Home」の[ヘルプ]メニューからご覧いただける「PlayMemories Home ヘルプガイド」、「PlayMemories Home ヘルプガイド（オンラインでもっと詳しく）」で、使用方法を説明しています。

フォルダーを登録／解除する

1. メイン画面で、[ファイル]メニューから[フォルダーの登録]を選ぶ。
   フォルダーの登録画面が表示される。



2. フォルダーツリーから閲覧する画像の入っているフォルダーを選び、チェックを付ける。
3. [OK]をクリックする。
   画像情報のデータベースへの登録が始まる。

画像の登録情報を最新の状態にする

登録されているフォルダーにある画像やフォルダーの名前を変えると、「PlayMemories Home」で画像を表示できなくなります。その場合は、以下の操作でデータベースの更新を行ってください。

1. メイン画面で、[ツール]メニューから[データベースの再構築]を選ぶ。
   データベースが更新される。

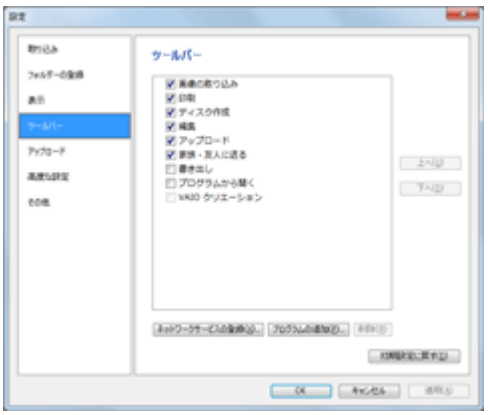
ご注意

- データベースの更新には時間がかかる場合があります。

ツールバーをカスタマイズする

ツールバーに表示される画像操作ボタンを変更できます。

1. メイン画面で、[ツール]メニューから[設定]を選ぶ。
   設定画面が表示される。
   - ツールバーを右クリックして[ツールバーのカスタマイズ]を選んでも、同じ画面が表示される。
2. [ツールバー]を選び、表示するボタンを選ぶ。

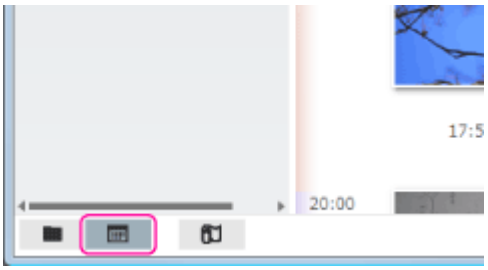


   - [上へ]または[下へ]をクリックすると、ボタンを並べ替えられる。
   - [初期設定に戻す]をクリックすると、ツールバーのボタンが初期設定に戻る。
3. [OK]をクリックする。
   ツールバーのボタンが変更される。

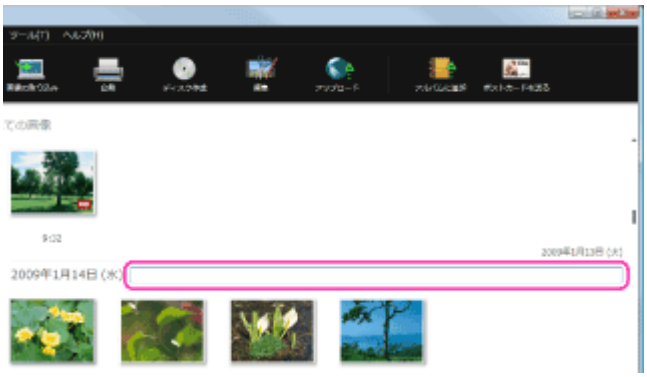
カレンダーに日付タイトルを付ける

カレンダービューで、日付ごとにタイトルを付けられます。

1. メイン画面で、 をクリックして日付ごとに表示する。



2. 日付の右側にマウスカーソルを置き、表示される[日付タイトルの入力]をクリックする。
テキストボックスが表示される。



3. タイトルを入力して「Enter」キーを押す。
日付欄にタイトルが表示される。

ヒント

- 入力した日付タイトルをクリックすると、タイトルを変更できます。

設定を変更する

▼ 取り込み
▼ フォルダーの登録
▼ 表示
▼ ツールバー
▼ アップロード
▼ 3D動画
▼ 高度な設定
▼ その他

メイン画面の[ツール]メニューから[設定]を選び、表示される設定画面で全般的な設定ができます。設定画面では、以下の設定ができます。

取り込み

機器を接続したときに、「PlayMemories Home」で取り込みを行うかどうかを設定できます。また、画像の取り込み方法、取り込み後の動作、取り込み先フォルダーの設定のほか、Wi-Fiによる自動取り込み、GPS軌跡ログの取得などの各種設定ができます。

フォルダーの登録

閲覧する画像が含まれているフォルダーを登録します。

ご注意

- 画像の取り込み先に設定したフォルダーは、登録を解除することはできません。

表示

[カレンダービュー]	週の初めに設定する曜日を選べる。日表示のとき、画像のない時間帯を表示しないように設定できる。
[フォルダービュー]	詳細表示で表示する項目を選べる。初期設定ではすべてにチェックが付いているので、表示したくない項目をクリックしてチェックを外す。
[サムネイル]	サムネイルの下に表示する情報を選べる。
[展開したビデオサムネイルの間隔]	ビデオを展開表示したときのサムネイルの表示間隔を設定できる。

ツールバー

ツールバーに表示される画像操作ボタンを変更できます。

アップロード

ネットワークサービスに画像をアップロードするときの画像変換設定ができます。

3D動画

[再生方法の設定]	3D動画の再生方法を設定できる。
[全画面再生前の案内]	チェックを付けると、全画面再生を始める前に、終了方法の案内が表示される。

高度な設定

[一時ファイルの保存先]	一時ファイルの保存先を変更できる。
[カスタムプロパティの保存先]	ラベル名や日付タイトルなどの画像以外のデータの保存先が確認できる。
[ハードウェアアクセラレーションの設定]	利用するハードウェアアクセラレーションの種類を自動的に設定することで、CPUの負荷を抑えることができる。ビデオの再生や編集、ディスク作成などで問題が発生する場合は、[自動設定の結果を有効にする]を選んで[自動設定]をクリックするか、[ハードウェアアクセラレーションを無効にする]を選ぶ。 1080/60p、1080/50p記録のビデオでハードウェアアクセラレーションを有効にする場合は、[「HD PS」のビデオで、デコードのハードウェアアクセラレーションを有効にする]を選ぶ。

その他

[メッセージの非表示をリセット]	[リセット]をクリックすると、操作中に表示されたメッセージダイアログボックスで[次回からこのメッセージを表示しない]チェックボックスにチェックを付けたメッセージが、すべて表示されるようになる。
[ソフトウェアの自動更新]	チェックを付けると、「PlayMemories Home」の起動時にソフトウェアの更新を自動で確認できる。
[言語設定]	言語の設定ができる。

GPSアシストデータについて

カメラをパソコンに接続すると、カメラに保存されているGPSアシストデータが自動的に更新されます。GPSアシストデータを最新のデータに更新しておくことで、GPSが測位するまでの時間を短縮できます。

カメラをパソコンにつなぐと、パソコンの画面右下に[GPS アシストデータを更新します]のメッセージが表示され、自動的にデータの更新が始まります。メッセージをダブルクリックすると、データの詳細を確認できます。
GPSアシストデータは、カメラを接続して表示される[GPSサポートツール]ボタンから更新することもできます。

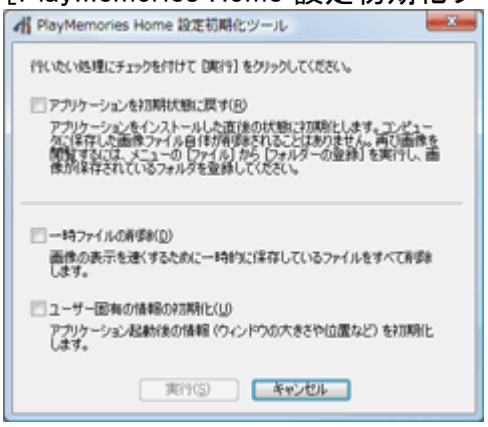
ご注意

- カメラを約1か月以上パソコンに接続していない場合は、GPSアシストデータが更新されていないために、GPSが測位するまでの時間を短縮できなくなる場合があります。

設定を初期化する

設定初期化ツールを使うと、「PlayMemories Home」を使用中に自動的に保存されるいくつかの設定値をクリアして、インストール直後の初期設定の状態に戻すことができます。

1. [スタート]—[すべてのプログラム]—[PlayMemories Home]—[PlayMemories Home 設定初期化ツール]の順に選ぶ。
   [PlayMemories Home 設定初期化ツール]画面が表示される。



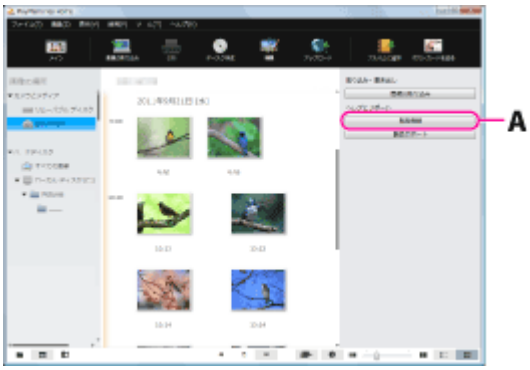
2. 初期化する設定を選び、[実行]—[はい]—[OK]の順にクリックする。

製品登録をする

お使いのカメラを製品登録できます。製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。

1. カメラの電源を入れ、パソコンとつなぐ。
   - 画像の取り込み画面が表示された場合は、(メイン)をクリックしてメイン画面を表示する。
2. メイン画面の［画像の場所］で、カメラのアイコンをクリックする。

3. ［製品登録］(A)をクリックする。



製品登録のウェブサイトが表示される。

4. 表示されるウェブサイトの画面に従って、登録を行う。

アンインストールする

以下の方法で「PlayMemories Home」をアンインストールできます。

1. [スタート]—[コントロールパネル]の順に選び、[プログラムと機能]または[プログラムのアンインストール]をクリックする(Windows XPの場合は[プログラムの追加と削除]をダブルクリックする)。

2. [PlayMemories Home]を選び、[アンインストール](Windows XPの場合は[削除])をクリックする。

USBケーブルをコンピューターから取り外す

下記の手順に従ってUSBケーブルを取り外してください。

Windows 7のときは

1. パソコン画面の右下にある通知領域の中の をクリックして、 をクリックする。
2. [<デバイス名>の取り出し]をクリックする。
3. USBケーブルをパソコンから抜く。
   お使いの機種によっては、カメラの画面上で —[はい]をタッチしてから、USBケーブルを抜く。

Windows Vista/Windows XPのときは

1. パソコンの画面の右下にある通知領域の中の をクリックする。
2. [USB大容量記憶装置を安全に取り外します](Windows XPの場合は [USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します])をクリックする。
3. USBケーブルをパソコンから抜く。
   お使いの機種によっては、カメラの画面上で —[はい]をタッチしてから、USBケーブルを抜く。

ご注意

- カメラのアクセスランプが点灯中はUSBケーブルを抜かないでください。
- カメラの電源を切るときは、上記の手順に従ってUSBケーブルを抜いてから電源を切ってください。
- 正しい手順でUSBケーブルを抜かないと、カメラのメディア内のファイルが正しく更新されない場合があります。また、メディアの故障の原因になります。
- Windows 7使用時は、 が表示されない場合があります。その場合は上の手順を行わずに切断できます。

商標・著作権について

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- “サイバーショット”、Cyber-shotはソニー株式会社の商標です。
- αはソニー株式会社の商標です。
- “Bloggie”はソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray Disc™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- “AVCHD 3D/Progressive”および AVCHD 3D/Progressive は、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick Duo”、“メモリースティックデュオ”、MEMORY STICK DUO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティックPRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティックPRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“メモリースティック マイクロ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、MAGICGATEはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- PlayMemories Onlineはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media Player、DirectX、Device StageはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- GoogleはGoogle Inc.の登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

著作権についてのご注意

あなたが撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

あなたがCDやネットワーク等から入手した音楽著作物の著作権は、それぞれの音楽著作物の権利者に帰属します。これらの音楽著作物を、法令で認められている私的使用等の範囲を超えて使用（複製、改変、再生、アップロード、特定多数もしくは不特定多数が利用できる家庭外ネットワークへ送信することまたは送信可能な状態におくこと、譲渡、頒布、貸与、ライセンス、販売、出版等を含む）することは、権利者からの許可を得ない限り認められていません。ソニーによる「PlayMemories Home」の提供は、これら第三者の音楽著作物に関してあなたになんらの権利を許諾するものではありませんので、ご注意ください。